# 京城日報

十六日夕刊
(朝夕刊を併せて八頁)

## ◎聯合軍戰略
### ル軍アミアン防禦＝獨軍編成替

西部戰線に於ける聯合軍の戰略は依然として敵の豫備隊を鏖殺し一方味方の豫備隊の增加を計るに在り三月廿一日以來敵は西部戰場に於ける兵力二百十乃至二百二十箇師團を三百三十箇餘の師團として之れを用ひ居れり是れ即ち備隊不足し師團の再編成を行ひたるものにて聯合軍の豫てより期待し居たる處なり、敵のマルヌ戰線に於ける防禦力は極めて強靭にしてアミアン戰線もルップレヒト軍善く防禦し居れり、一般の形勢は聯合軍逆襲の遲延す可きを示し居れり（倫敦電報）

## ◎佛軍逆襲敵退却

巴里沙電＝佛軍の逆襲は獨軍をして一度渉りたるマルヌ河を渡渉して退却するの已む無きに至らしめたり（香港電報）

## ◎獨潜水艇防備決議

桑港喊防會議は獨逸潜水艇の太平洋沿岸來襲に對應する爲め防備を講ずる必要を提議す可く決議したり（桑港電報）

## ◎獨軍隊墺國派遣

伊紙チユリン、スタンパ軍事通信員所報に據れば「獨逸軍隊は墺國騷亂鎭壓の爲め同國に派遣されたり（ミラン電報）

## ◎露艦轉航と協約

露公報＝露國政府は獨逸の要求に應じノウオロシイクにある露國軍艦全部をセバストボールに轉航せしめ獨逸は一般平和締結前右軍艦を使用せず又一般平和締結と同時に之れを露國に還附す可きを約せり右は小露西亞方面戰線に於ける交戰中止の主要條件にして又露獨協約の根柢條件也（倫敦電報）

## ◎米遠征軍組織計畫

米國政府は米露兩國主脳と成り少數の米國軍隊及び利用し得可き日支露の三國軍隊を以て遠征軍を組織し是を露國に送らんとの計畫に就き目下考慮中なり（飛鳥領事報）

## ◎天津會議開會

天津會議は十四日直隸督軍署にて開會、曹錕、張懷芝、倪嗣沖、張作霖、王占元の諸氏其他列席せるが主戰、和戰各論半し爲めに早朝より午後四時に至りて漸く散會せり（上海特電）

## ◎議員選擧徐派勝利

今日迄の形勢に依れば新國會議員選擧は徐樹錚派の勝利に歸したるが如しされば新國會成立するも總統選擧會を組織し得る法定數を得る能はざる可し（北京特電）

## ◎米鋼鐵日本積出

近く日米相互協定に基く第一回分鋼鐵十五萬噸日本に積出さる可し（華盛頓電報）

## ◎倪嗣沖著神

倪嗣沖氏は蚌埠より特別列車にて十四日午前十時半著津直に伊太利租界の私邸に入れり（天津特電）

## ◎布哇白米輸出

大阪商桑商店及び三井物產にて今回政府の特許を得て布哇在住邦人の食料品として白米約六萬石を近々積出す可く目下阪神にて備前白二等物三十一圓見當にて買付交渉中なり（大阪特電）

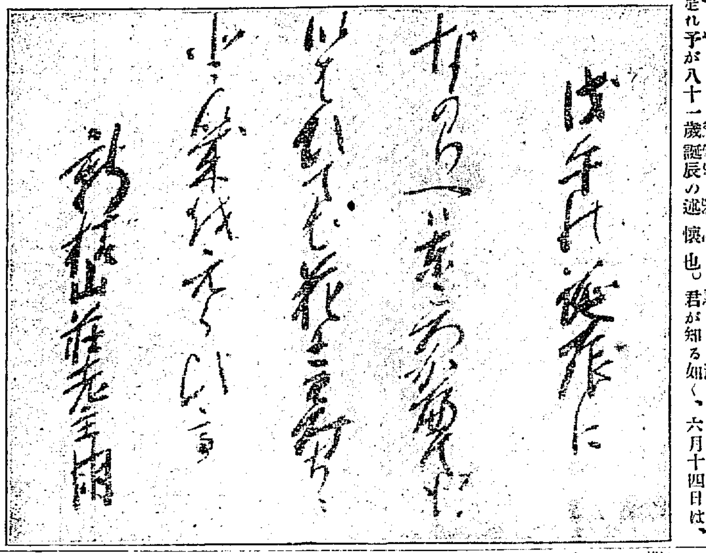
## ◎阪谷男歸東

阪谷男は十六日午前十時大連發の南丸にて歸東せり（大連特電）

## ◎山縣老公八十一歳の誕辰

東京にて　蘇峰生

六月十二日、含雪老公を、番町新椿山莊に訪ふ。老公自から誦卿の質く稱す。然も壽八十一路に躋りて、眼倍明、耳愈聰、神彌澄、朝案、翰牘、各般の文書を閲し、政事、軍務各種の賓客に接す。其の精神の旺盛、氣魄の雄厚、壯者をして後邊に瞠若たらしむ。頭娓々として盡きず、去るに臨み、懷を探り、一紙を授けて曰く、是れ予が八十一歳誕辰の述懷也。君が知る如く、六月十四日は、予が誕辰にして、毎年同日を以て、新舊の清集を催ほすを例とす。但だ本年は、覺きに時局の爲めに、觀櫻例宴の中止あらせられ、加ふるに新邸陰狹、衆賓を會するを得ず。惟ふに他時好機を得、小田原古稀庵に於て、此の憾を償ふを得ん乎と。卅歌に曰く、なからへは所換ても耽てむ花に紅葉に時を擇ひて　と。予は老公の彌々增し健康にして、此歌の事實に發現す可きを確信す。息觀此に在り、公の觀奮、門下生、銘記して可也。



## ◎吉會鐵道借欵調印
### 朝鮮の蒙るべき惠澤多大

今回日本及び支那政府との間に吉會鐵道二千萬圓の借欵成立し十一日北京に於て

▲正式調印を了したりとの事なり該借欵問題は客冬吉長鐵道借欵改訂後直ちに交渉に著手したるが爾後支那政府內部の動搖及び露國東清鐵道問題等に擾綿せられ交渉兎角行惱みの姿となり居りしが今回愈々借欵成立し吉會鐵道敷設に向ひ其の第一歩を踏み出したるは日支兩國の爲め同慶に堪へざる處なり言ふ迄もなく吉會鐵道は吉林會寧間二百七十哩を通ずる鐵路にして千九百九年今より十年前日本が吉長鐵道投資と共に借欵優先權を獲得したる線路なり即ち吉長鐵道の價値は吉會鐵道の開通を以て始めて完成せらるゝを以て最初より此の兩線の

▲連絡不可離　なるは勿論なり其の後に及び朝鮮方面にては會寧鐵道開通し北鮮鐵道亦遠からず全通の運びに至るべく茲に始めて吉會鐵道の敷設を要するの時期に到達せるより南滿鐵道會社にては客秋以來吉長約欵の改訂に著手し以て將來吉會鐵道との連絡上遺憾なからしめたり而して吉會鐵道開通に依り始めて南滿北部及び北鮮並に中部日本との連絡完成せらるべく該線が將來軍事經濟上偉大の價値を有する事は既に說明を要せざる所なり單に之れを產業上より見るも沿線二百七十哩の地は所謂吉林奧地にして未開發の富源は餘方哩の地に連亙し森林及び鑛山は他各縣地方の

▲農產物無限　の富を藏し從來運輸の便を缺きし爲め徒らに埋藏せられたるが吉會鐵道の開通に續きて吉海、海開、鐵道等の開通連絡と相俟つて想像以上の殷盛を齎すや必せり且つ吉會鐵道の開通は哈爾賓以南の東淸鐵道沿線及び開原以北の滿鐵沿線四鄭鐵道沿線等に於ける滿洲特產物は該線を經て淸津港に集るべく更に長洮鐵道の開通を見るに至らば所謂滿洲の富は長春を中心として悉く淸津港に殺到し豫想外に繁榮を來すに至るべく又該線開通を單に一地方の經濟關係より見る時は滿洲よりも

▲朝鮮に於て　頗る惠澤を享くる事となるべし之れを近來鮮人の國と稱せらるゝ間島開發の上より見るも同島移住鮮人の幸福は大なるものあるべし要するに吉會鐵道の開通は南滿北部地方の產業交通經濟史上に一新紀元を劃すべく南滿洲に於ける我鐵道政策中の綿路敷設亦之れを以て一段落を告ぐるものと見るも差閊へなからん事を切望するものなり（大連）

## ◎小口落禁止と仁川市場
### 自發的廢止の方法を執るを要す

楠野仁川府尹談

小口落の弊害が一般に公認せられたる以上之が禁止勅令の發布は寧ろ當然の事なりと云はざるべからず而して內地市場に於ける禁止は單り內地に止まらず弊害と認むべき同一の行爲なりとせば之を

▲朝鮮にて發布　せらるべきは又至當の事なりとす唯朝鮮に於ける取引所は內地と聊か其の趣を異にするものであるを以て今遽かに之が實施を見る能はざるべきも要するに弊害ありと認むべき行爲を單り朝鮮のみ默過すべきに非ず而も其の禁止は時日の問題にして已を得ざる事なりと覺悟せざるべからず而して當業者は其の禁止の趣旨に鑑み自發的廢止の方法を執るを要す未だ鮮に之が禁止令の發布なきの故を以て毫も從來と異なる處なく平然として此弊を繰り返へすが如き事あらんか當局は內地に於ける

▲禁止と同じく　斷然たる處置に出づべきは瞭らかなるべく寧ろ此際當局の處斷を俟つが如き事なく事業者自ら自發的に小口落を廢止し以て弊害と認むべき事項の改善に力めらるゝは取引所並に事業者自體の爲め最も適應せる事に非ずやと思考せらるゝ予は切に之れが實行を希望して已まざるもの也

### ▼多少の特典あらん

仁川取引所仲買組合委員長　淺松太郎氏談

小口落の禁止は內地では頗る重大なる問題として論議せられた處である者に依つて今日迄多くの事業に愈々勅令發布されたる今日に於ては何じく鮮にも

▲早晚之が禁止　の處置に出でらるべきは瞭らかであらう而して仁川市場に於ても此の禁止が實施せられる曉に於て取引市場は如何に變化するか從來の客筋は恐らく三分の一に減じ營業打擊を蒙る事は勿論であらうが更に一般地方經濟に至りては頗る大なる影響を來すであらう元來仁川の市場は內地と其の趣を異にする處あるが故に小口落の弊害も亦內地に於けるが如く大なるものでは無い之等の關係上當局の處置としても必ずそこに多少の特典を加味せらるゝ事と思はる、又內地に於ける禁止實行に就ても

▲仲買と取引所　との間には幾分の便法を講せらるゝ事となり例へば茲に三萬石の資ありとすれば一萬石を賣り一萬石を買つた時に於て取引所は當然三萬石の記帳はするが證據金は先づ二萬石の價に對してのみ徵收し他の一萬石に對する分は多少の猶豫を與ふる等の事が實行出來る樣になつて居る何れ當業者の集會を開いて仁川市場に於ける善後策を研究したいと思つて居る

## ◎京城銀行團の土曜半休問題
### 反對說旺ん也

京城組合銀行の間に最近土曜日半休實行の模樣あり果て各銀行にて

▲土曜を半休　とせば一般取引者間の不利不便甚だしとて反對の聲高きが右に付聞く所によれば土曜半休の問題を提唱せしは漢城銀行專務韓相龍氏にして氏は銀行業務に關はる銀行員の勞苦を幾分にても輕減せんとの趣旨より過般來熱心に各銀行を說き廻り又銀行集會所の定例會同にてもその實行を力說せしもの、如く右に對し第一銀行支店長の□村氏先づ贊意を表し其他各銀行は進んで未だ贊成せざるもさりとて絕對反對に非ず詮案として集會所の會議に上らば敢て否決すべき形勢も見へず唯

▲鮮銀のみは　尙贊否を明言せざる由なるが要するに大勢は土曜半休決行に傾きつゝあるものゝ如きに付最近此の狀勢を知れる有力會社並に個人商店特に最も銀行を利用する三井物產東亞煙草京城電氣その他にては大に反對の聲を擧げ運動交渉を續けつゝあり卒然銀行の土曜半休と云へば大問題とするに足らざる如きが土曜の翌日は日曜にて金融機關の全然閉鎖せらるゝより觀れば土曜日の金融は一週日最も重要の日にて殊にその午後の四時間は重要なり、然るに各銀行が

▲行員の勞苦　多きを念とすとの理由により一段して半休を實行せんとするは朝鮮の如く證券流通額の多からざる土地にては一般にとり非常の打擊と曰はざるべからず若し一週の內行員に半休を與ふる必要あらば水曜の如きにてさば可ならずやと曰ふ向もあり銀行團が一二銀行の先行に引摺られ土曜半休を實行すべきか否やは注目すべき問題なり

### ▼京阪にも例なし
#### 銀行團の反省を望む

京城組合銀行の土曜半休問題は既に大勢は極つたらしいとも云ふがまだ決議をした譯でないから研究の餘地あるものとし予輩は監督官たる當局者の一考を求め銀行團の反省を促したいと思ふ第一土曜を半休とせる銀行はドコにあるかと云ふに內地でさへ爲替を主とする外國銀行の若干と

▲日本銀行　あるのみである日銀は銀行の銀行であつて一般とは直接の關係なくその土曜半休は大なる痛痒を感じないので之れを例にすべきものでは素よりない、東京大阪神戶名古屋の如き金融界の發達頗る甚で小切手の流通現金より多いと云ふ土地でさへ土曜半休は實行してない、然るに財界の幼稚な又後進たる京城で早くも外金爲替銀行の眞似をしやうと云ふのは合點の行かぬ話しと思ふ銀行員が終日數字と首引きで勞苦の多い事は素より認むる、然し外の會社や

▲個人商店の　從業者より果して多く疲れるかどうかと云ふ點に至るとその輕重の比較は俄に斷ぜられぬのである、實業界に從事してゐる以上朝から晚まで働くのが當然である、唯此の行員の勞を慰するためと云ふ口實より一般に多大の不利を及ぼす土曜半休を決行し金融を硬塞しやうと云ふのはどうしたものであるか、かゝる點に於て京城の銀行が日本各地の銀行界に先立つたと云ふやうな名聲は擧げて貰ひたくないと思ふ（某有力者談）

## ◎南大門驛設計
### 著手期は明春乎

南大門停車場の新營は京城管理局にて最近假設計を終り相當說明書添附の上總督府に伺出でたる所新營案に對する意見有力方面より頻出し尙ほ多くの研究を必要とするに至れるより勞々到底大正七年秋期よりの起工は困難となりたるもの、如く多分大正八年春期に入るならんとのことなり

## ◎小額券回收高

鮮內に於ける朝鮮銀行小額券の回收は引續き各銀行金融組合郵便局等に依賴し行なひつゝあるがその一旦市場に撒布せる小額券の回收は多くの時日を經過せざれば成績見るべきものなしとの事なるも客月來新手形の放出を鮮銀にてなさる關係上市場流通の分は漸次汚損しつゝあるに付きその所有者の手放しを急がしむる事並に來る九月の納稅期には地方撒布分の集聚大々進捗すべく豫期されつゝあり而して目下の引揚げ高は約二十萬圓にして尙ほ市場在高は約四十七

## ◎代議士團營口行

代議士團一行は滿鐵村井地方課長案內にて十六日午前十時大連發營口に向へり（大連特電）

## ◎楠瀨前陸相歡迎會

前陸相楠瀨中將入京に付官民有志の發起にて十七日午後六時三十分より花月に於て歡迎會を催す由出席希望者は豫め花月に申込み會費金五圓當日持參の事と

## ◎淺川中將退京

入京中なりし馬政局長官淺川中將は十六日

## ◎總裁理事開城行

鮮銀總裁美濃部俊吉同行理事片山繁雄の兩氏は十六日午前九時五十分南大門驛發列車にて開城に向ひ初夏の開城を視察せし上午後七時二十五分著列車にて歸京せり

▲訂正　十五日夕刊與發債劵發行記事中みだし「公債の使途」とありしは「更債の使途」の誤りに付訂正す

## 人事消息

▲櫻井庄平氏（新潟縣代議士）十六日朝內地より來大へ通過
▲岡田伊賀松氏（帝國麥酒社長）十五日夜入京巴城館へ
▲久保要藏氏（滿鐵京管局長）十六日朝大田より歸京
▲中島陸軍少將（參謀本部二部長）外一名と共に奉天より內地に向け十六日朝通過
▲楠瀨中將　十六日朝仁川へ

▲[illegible]　同上
▲[illegible]（石川縣農[illegible]會社重役）十六日朝退京
▲高橋[illegible]（[illegible]）十六日朝入京
▲[illegible]（[illegible]）十六日[illegible]
▲鎌田[illegible]八氏（春川憲兵分隊一等主計）十[illegible]日午後入京清光館へ
▲藤谷少佐（[illegible]憲兵隊長）十五日午後[illegible]より入京清光館へ
▲瀨川總監部技師　十五日午後[illegible]
▲遠藤[illegible]子爵　十五日午後始興より[illegible]
▲[illegible]課長　十六日午前大邱へ
▲伊東四郎氏（憲兵中佐）十五日午後入[illegible]
▲平野總三郎氏（帝國麥酒會社監査役）
▲森岡民氏（釜山鐵業家）十六日朝退京

## □夏の金剛山一周（五）

溫井里より　高木背水

◆此の日表訓寺に一泊して久し振りに京城から御見舞を受けた、正陽寺迄は僅々十丁其の山登りだ正陽寺から見渡せば此れ亦一大パノラマの壯觀だ此の附近が金剛山の一番中心で寺やら山水やら評山見る處が多い脚の人は長安寺から頂髙に登るも面白い愛しい事は鐵道の案內記に借いてある

◆表訓寺を出て臨路で發して四里半だが最初は渓流に沿うて登る其の間又一歩毎に去り難き迄に山水の景に富んで居る古代の俳個や詩人が要所々々に一々面白い名を附して居るが惜い事に立札が有つたり無かつたりで案內者が存はずば名が解らぬ

◆妙吉祥の佛像は三十二相完備してゐると云ふので不名である佛弘に暗い者が眼には其の方の見所は下せぬが一見して非凡の氣に打たれる技術も勿論巧妙であるが技術以上に何物かの感が秀でて居る自分の眼ではギリシヤ時代ローマ時代の人理石像よりは勝れて見ゆる彼地のは技術は巧妙を極めて居るけれどドウしても人間離れがしてゐないが此の像は至つて人間を超脫して自然的に佛の威光に打たれる

◆此處から在鏡臺迄の間はイロ〳〵水源で水の流は一歩毎に少なくなるが共さ反對に兩側の間の老幼各种の樹木は出錯は暗く若不苔むして出來ぬ深林の氣分に富んで居る在鏡臺の頂上は海拔四千三百尺此の邊は京城で四月頃のやうに存分に吹いて綠は萌はつゝじが思ふ色勝ちで然かも色が一ときわさいて居る

◆鏡ヶ林の間には處々に山やか今を盛りと咲いて人を待つ樣であるが氣の毒ながら昨今未だ來客は甚だ少ない

## 北海道まで（五）

天民生

車中にて

三人の金髮婦人と乘合ふ、姦しきこと言はん方なし、されども異郷の衆人稠坐の中にて平氣で歡笑し如何にも愉快さうなる彼等の氣分は羨しく感せざるを得ず金髮の女かしまし颯颯

車中騒日一つ二つ
汽車は春の汽車で讀みたる暑かな
京ならし若葉の里にはいりけ[illegible]
靑葉がくれに鶯鳴いて
春の名殘をとめてゐる

偶成

[illegible]計○年○ 居○人間百歲憑何用○ 不計身休○ 萬里之遊○○○ 平生未背事閑○

氣が晴れる、氣が晴れる程忙しい程氣が晴れ、忙しいのが面白い、人生の目的は活動に在りとはツマイ言葉だが、汽車中は極めて平凡であるが、窓の外は千變萬化し、心機一轉して毫も倦む所は無い、活動の樂、讀書の樂、而して活動の樂、斯くして人生は終るのである。目的とか理想とか言ふことは、薄弱な徒に與ふる一種の刺激の符號に過ぎない。人間には活動があるから默つて居ても活動は上して行く。

## 忘機吟社六月例會

席上賦何（其二）

水村晴似畫○煙樹遠如浮○　屛作
雲窗高似往○煙樹遠如浮○　古竹
[illegible]○煙樹遠如浮○　鳩仙
晚潮平似鏡○煙樹遠如浮○　如水
白鷗飛不去○煙樹遠如浮○　柑泉
雲峰高欲落○煙樹遠如浮○　錦石
樓[illegible]呼欲答○煙樹遠如浮○　金陵
沙禽[illegible]似[illegible]○煙樹遠如浮○　[illegible]
孤帆[illegible]○煙樹遠如浮○　敬愛
暮潮[illegible]○煙樹遠如浮○　三寬
水禽[illegible]○煙樹遠如浮○　學[illegible]

□成歡驛より　奥村敏子

私事、十年の思ひ成つて今が我汽車にて南下、逆迎する山河も我を祝福するに似たり、成歡驛を過ぎ獸驛通過、明治二十七年日清戰爭當時を追懷して感慨無量。
思ひ成して氣もせく〳〵と夏の旅

十一月一日現行

[illegible]

# 阿片器具が有つた爲に
## ―吸食者として懲役に遣られた……證據の器具を持ち込んだ人々を訴ふ
### ◇損害賠償金二萬五千餘圓

京城貫鐵洞六十三番地居住元李王職贊侍李弼均は辯護士木尾虎之助氏を訴訟代理人として昌信洞居住伯爵閔泳綺氏及び貫鐵洞居住閔丙星の兩氏を相手取り金額二萬五千六十七圓六十一錢の

◆損害賠償 請求の訴訟を京城地方法院に提起せり原告の主張要旨としては原告は大正六年十月十日李王職の贊侍として德壽宮に宿直して不在中被告兩名は原告の承諾を得ずして擅に阿片煙の吸食器具なる煙管外數點を原告の私宅に持ち込みて竊かに

◆阿片煙を 吸食したる後該器具を其の儘原告所有の什器箱の中に藏匿したる爲め原告は被告等の不法行爲に依り單に家宅安全を侵害されたるのみならず原告は法律の禁物たる阿片吸食器が原告の家に在りて自然に原告の

◆所有物と なり居る事實を知らざる間に偶々大正六年十月十六日原告は阿片吸食者として官憲より嫌疑を受け檢事の家宅捜索を受けたる結果前記の阿片吸食器を發見押收されたる上同月二十五日

◆拘引起訴 され遂に懲役三箇月の處分を受くるに至り從つて李王職贊侍たるの官職を失ひ且つ公判に附せられたる際も吸食器所持に就ては何分の申開きをなすに由もなく結局懲役處分に服罪するの已むなきに至り滿期出獄後に於て初めて吸食器を被告等より

◆持ち込まれたるといふ事實を突き止めたるに依り此の訴訟に及びたるものなりと尚ほ請求損害賠償金額の内譯として一萬五千圓は大正六年十二月より大正十六年十一月迄毎年年俸一千二百圓と毎年の洋服費百圓と年末賞與金百圓宛宿直料百圓とを加へたるもの又一萬圓は

◆名譽毀損 と身體を傷めたる損害金、六十七圓六十一錢は大正六年十月二十五日より大正七年二月二十三日迄鍾路拘置監收監中の食料費なりと是れが第一回公判は本月十七日京城地方法院民事第一部法廷に於て開廷さるべし

### ◇恒憲王御起居

賀陽宮恒憲王殿下は姫路騎兵第十聯隊にて全く兵士同樣の御生活襯衣一枚の御姿にて馬の手入れを爲し居給ふと(大阪特電)

## 貨車に挾まれ
### 遞送夫一名即死 一名は生命危篤

十五日夜七時大阪驛にて郵便物積込中貨車と貨車に挾まれ郵便遞送人片山鐵雄は即死村上倉作は生命危篤也(大阪特電)

## 死美人事件 女將免訴

事件再び迷宮に入る

内報柳行李死美人事件にて取調の兩名を放免す

結果今回證據不充分にて免訴となり播州龍野町お音の女將は『夢にも覺えの無い事で一年以上も監獄に入れられました』と零し居れるがこれにて同事件は又々迷宮に入りたりと(大阪特電)

▼豫審決定書 山口縣玖珂郡岩國町大字錦見三三二四當時廣島縣佐伯郡大竹町字大竹 小林滿左衛門(四九) 兵庫縣揖保郡龍野町字龍野ホ二三〇番地料理屋兼旅人宿 山口お政(四二) 右兩名は共謀の上明治四十年十二月初旬野上謙一の妻ヨシ(慶應三年生れ)を金品强奪の目的を以て殺害し死體を柳行李に詰め十二月八日長崎驛より早岐驛迄託送したる强盗殺人被告事件は犯罪と認むべき證據不十分なるを以て免訴し

## パラチブス蔓延の兆あり
### 十五日には一日にて二十九名の患者を發見す
### ◇女と子供の罹病が多い=注意せよ

氣候の加減か昨今京城市中には傳染病患者が續出しつゝあることは既報する所ありしが、殊に

▼パラチブス が漸く蔓延の兆候を呈して來たもので、市内の各隊警察署では其の防疫に努め併せて患者の早期發見をする爲め檢病的の戶口調査を斷行してゐる其の結果十五日の如きは本町警察署管内で十八名、鍾路警察署管内で九名、龍山分隊管内で二名合計

▼二十九名の パラチブス患者を發見したもので患者を入院させる家族を隔離する、家具を消毒するといつたやうないろ〳〵な事で本町警察署の如きは非番員迄集め衛生係は大活動を演つてゐるかもパラチブスの外に腸窒扶斯患者も若干あり其の他は

▼傳染病で はなくとも再歸熱やマラリヤ等の患者も續々發見されてゐるが或の家の如き一家擧つて臥床してゐるやうな向きもある、元來パラチブスは女と子供の罹病が多く早いのは三四日間で癒るものもあるが、大抵は二三週間

▼入院治療 せないと全快せぬ餘病を併發することもあるさうで、昨今は總督府醫院順化院を初め市中の開業醫の病室迄入院患

▼生魚と野菜 大抵の傳染病は胃腸の弱味につけ込むで來るものであるから腸胃さへ健全であれば餘り恐るゝに足らぬが、夫れには飲食物に對する注意が第一條件である、殊に生魚と生野菜と果物類とが

▼傳染病の主 なるものと見られてゐる、棚ざらしになつた生魚や溝で洗つた野菜などは傳染を媒介する虞れが多いもので官憲では生魚商と野菜屋とを各戶臨檢して相當の設備や處置を命じてゐる是等傳染病に就いて

▼支那人の 傳染病患者が甚だ稀なのは要するに生物を食はないからだと某醫師は語つてゐた

## 算盤に現れた男女能力
### 其運速は頭腦の問題 女は男の敵でない

十五日京城郵便貯金管理所に於て珠算進級試驗を執行したることは既報の如くなるが同所長は語つて曰く 管理所の仕事の中で最も大切なるのは郵便貯金の決算である從つて算盤を最も迅速に且つ正確に置いて此事務をドシ〳〵と處理して行く事と云ふことは所員の職責の全部である、速算の

◆秘訣 は最も機敏に眼と指先を働かすに在るのだが夫以外に尚頭腦で彈くと云ふことが必要である頭腦で彈くと云ふのは眼と指先を機敏に働かせてゐる間にも細かに頭腦を働かせ簡單な數位は一々算盤によらず

◆暗算 で片付けて了ふのである、詰り頭腦の働きに依つて無用な指先の活動を省き入算上の速度を助けるのであるから女子は男子に比べると指先が器用だから非常に上達は早い、然し或程度迄進むと夫から先は餘程の天才でない限り捗々しい

◆進境 を示さぬやうである之に反して男子は進歩の遲々たる代りに愈々熟練すると常に女子の上を行く現に今管理所で特別二級の資格を有する者は男子ばかりで女子には一名もない此邊が所謂男女の能力の差のある所であらう所員は男女を問はず算盤が

◆生命 であるから毎日退廳後一時間以上居殘つて算盤を練習させることになつてゐるが滿一年の中に進級試驗に合格しなかつた者は其年の昇給を止めることになつてゐるから所員は嫌でも應でも眞に身を入れて之を練習せねばならぬ譯である

## 電車事故

近來京城の電車は毎日事故頻發し時には停電の爲め立往生することも珍しからざるが

▲救助網に乘せる 十五日の如きは午後六時頃古市町十四番地先にて東大門行き九十一號電車は通行人なる金永西(五三)を危く轢き倒さんとせしも救助網にて掬ひ上げて無事なるを得

▲自動車と衝突 同じく六時十分頃には古市町にて自動車と衝突したる電車 昇降口を少し破損されしが乘客には異狀なかりし

▲荷車をはねる 同日午後二時四十分頃には府州通行八十一號電車が黃金町三丁目百二十一番地先にて荷車を挽きて線路を通切らんとせる茶屋町の姜瑞(一六)の車を跳ね飛ばして顚端は數箇所に二週間を要する打撲傷を負ひ同日南大門通五丁目にては龍山行百十號電車が附近の飼犬一頭を轢殺せり

## ◉同春園雅筵 小原鳥兎森

安康城八軍の發起にて、目下在京中の左記四氏を迎へ十五日午後一時より鍾路同春園に於て催し緣陰風薰る同春園に集まるもの主客十六名、席題『夏淺し』課『木下闇』十句を課して吟詠に選を了て晩餐に移りて、歡談久しうして散會したるは既に薄暮なりき、此の日幽境鳥語の間に、この閑彩管を揮へて金剛山に遊べる牛田大箭氏の出席あり、席上の俳諧に左衞門氏の贊句を加へて頗ちたるも亦一入の興なりき(右の外出席者)岡本桂堂、秋元雛川、小川風川、伊梅子、小田風月、四宮栞川子、烏丸八、滿藤堂、稻貝落葉子、青木翁軒、橋本浩一路、松尾白池

## 毎週ポンチ
### ―茶目公の失敗―

(一)お天氣はよし風はなし舟遊びには持て來いの日なのでお父さんは茶目公を連れて船を乘り出しました、
(二)海の眞中に船を止めてお辨當を開き景色を眺めながらおいしく相に樂しく食べました、おなかがふくれるとお父さんはいゝ氣持ちに眠むくなつたので椅子におしりを掛けてグーグーと居眠りを始め夢を見て居ります茶目公は早速つり竿を持ち出して椅子の先きに腰を掛けました
(三)すると大分大きな魚がかゝつたと見えて竿がまがり始めたので茶目公椅子の先でこたごりをして大よろこび
(四)やがて大きな鯛が糸の先に付いて來ましたがあまり大きいのでなか〳〵上らない其の内お父さんは茶目があまりさわいだので目がさめて船の上に立つたからたまりません茶目公海の中にザンブとばかりおつこちました、ソーワーお父さん助けて〳〵お父さんに之れを見てこりや大變今の夢は正夢ぢやーさみー

## 初日滿員
### 釜山興行

東京大相撲鳳一行は愈々十六日初日を開場したるが午前中より觀衆押寄せ來り正午には早くも滿員の盛況を呈したり(釜山特電)

▲二日目取組 =釜山特電=
玉の川(鶴の海)大岬
伊達錦(白岩)小牟田山
大戸平(藤の川)千葉ヶ崎
錦島(琴ヶ浦)大潮
三杉磯 鳳

二日目本社釜山支局番外お好み決勝五人拔 西方 一の島、小田山、能代潟、鶴の海、小牟田山 東方 九紋龍、眞砂岩、伊達錦、白岩、大岬

## 雨の十五日 觸大鼓
### 日を廻し前景氣盛んなり 十六日晴天初日
### ◇鳳は大元氣

鳳一行の東京相撲は十五日午後九時壹岐丸にて來釜せるが此日朝來降雨あり一行著の際降り止まざりしも一行を出迎ふる見物する者雨を冒して棧橋に蝟集せり病氣と傳へられし

◆鳳は 全く快復元氣にて上陸十五日は降雨にも拘はらず勇ましく觸太鼓を廻したり、十六日晴天初日を出す當地の前景氣頗る熾ん人氣引立ち地方より泊りがけの

◆見物 さへあり千葉ヶ崎は一船遲れ十六日朝着釜せり(釜山特電)

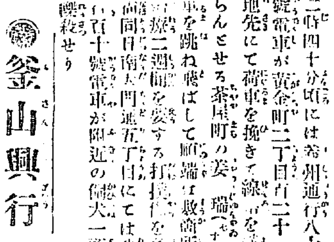
## 運動界

△法大野球團著連 法政大學野球團は二十日大連着二十九日迄各チームと試合の上奉天長春を經て二十九日京城着の豫定也(大連特電)

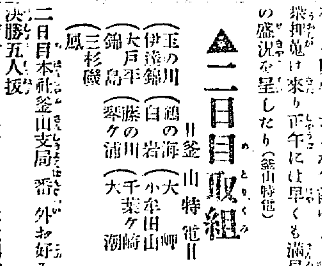
▲關東州野球大會 十六日大連西公園に於て關東州野球大會決勝試合開催せられたり(大連特電)

### 讀者文藝 (一等には五十錢の賞品券を呈す)

▲錯めね
○茶目の逝去(一等) 京城南大門通五丁目以分店 折田
稚市 選外佳作 ▲龍山由 田有己 ▲京城六十 ▲大阪 佳鶴生 ▲大郎しな子 ▲鳥致院狄天生 ▲大




十三日釜山港の連絡船中一等に加藤定吉と云ふ紳士が乘りあつた、棧橋係の警官が加藤海軍中將が乘船されたと云ふので連絡船の方へも注意を與へた▲船では何等の通報も得て居ない或る程度迄は…… ◇加藤中將閣下か



と云ふので大騒ぎ十四日御下關入港間際には山田事務長が眠むたい頭を掻き乍ら信號手をして早速檣高く旗を揭げさした▲船は間もなく下關棧橋へと着いた處が驚いたのは鐵道院を始め水上署の人々、將官の乘船に何等の通報のないのは不思議々々々と云ひ乍ら旗が翩々として居るので捨てゝもおけず、早速船中に訪問して敬意を表すると御本尊は似ても似付かぬ衆議院議員勳四等加藤定吉氏だつたのでオヤ〳〵▲之には流石の加藤氏も苦笑を禁じ得ず『マサカ海軍中將と祭り上げられて居らうとは思はなかつたよアツハヽヽ』

## 駆落者の素性
### 男は元郡書記

堀田巡査が取調べたるに果して男は東京生れの高橋由五郎又女は釜……娼妓を勸むる事となりたる……の事が忘られず遂に送金までして……

## ◉連絡船上陸客 十五日午前入港博愛丸上陸一二等客

郎、大川清吉、大川參、源二郎、武澤分義、木原きく、竹内とめ、同初江、合田太郎、小見芳男、梅谷遊、松波千海、杉浦又治郎……
二等三十六名 三上、玉川、大潮の川、三杉磯……

### 課題及募集規定
□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に住所氏名明記の事……


## 星印ソース

今やいづれの御家庭にてもソースは星印を御愛用になる

本品は其品質と賣行きに於てソース界の明星なり

全國到る處の洋酒食料品雜貨店にて販賣す

發賣元 大阪市 祭原伊太郎

## 肥料特約店募集

本邦に於て他に類例なき優良廉價の加里肥料、燐酸加里、之等の加里肥料並に燐酸加里を基礎とせる完全肥料及硫安、骨粉、魚カス肥料製造其他内外肥料販賣の爲め全國各地に特約店候補者を募集す詳細は御一報次第回答す

大阪市東區高麗橋二丁目二十番地 關西起業株式會社 資本金二百萬圓 電話本局三六五七番

## 大連燒酎

夏季の最適飲料

香味清烈

大連燒酎釀造所 九鬼榮助

## 蠶卵臺紙

朝鮮勸農商會 釜山本町二

魯桑種子 普通桑種子

## 大臣閣下入京

前陸軍大臣楠瀨中將閣下入京セラレ候ニ付左記ニヨリ歡迎會相催候間御贊同御來會希望致候

記

一、日時 六月十七日(月曜日)午後六時半
一、場所 花月樓
一、會費 金五圓也 當日御持參ノ事
一、申込場所 花月

大正七年六月十六日

發起人(イロハ順)

市川堅太郎 遠山熙 岡田榮 立花小一郎 久保要藏 山口太兵衛 古海嚴潮 趙重應 木本倉二 持地六三郎
萩谷籌夫 小原新三 金谷充 中村再造 釘本藤次郎 馬詰次男 國分三亥 阿部充家 美濃部俊吉 鈴木穆
朴泳孝 大垣丈夫 川上常郎 荻田悅造 具然壽 牧山耕造 國分象太郎 阪出鳴海 人見次郎 以上

## 痔疾專門 入院隨意

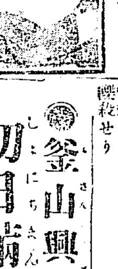
京城 久枝肛門病院

京城明治町二丁目本町より入る中程(電話二一〇一番)

## 高木旅行用具店

□柳製專賣品トランク
□雨合羽防水布ゴム引マント 雨具一切
□魔法瓶及中瓶取替
□其の他旅行用具一切

京城本町一丁目 電話一三四番



## 人事周旋業 百般 萬年社

京城府明治町武丁目 電話長一八四四番

## 京城 ビヤホール 瓢六支店

愈々本日より瓢六支店を開業致しました

▣瓢六支店は……二百坪の表通りに新築庭園廣く數百本の樹木を植へ趣を凝し粹士雅客を待に落かしからず

▣麥酒は札幌……開業自祝として三日限り札幌生ビール三十錢にて提供致します

▣西洋料理は……東京精養軒にて二十ケ年も經驗あるコックを呼寄せ新鮮の材料により美味と衞生と十分御滿足を與へ

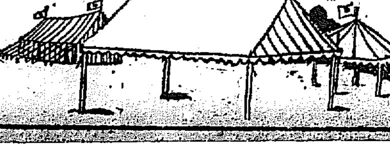
▣其の料金は……諸事御手輕を專らと何品にても拾二錢均一の破天荒の勉強を致し升

▣アイスクリーム……は色付でない純然たる原料を用ひ是又他に比類なき特色を有します

▣氷水各種……に至りては自善自讚でなく其嗜好の佳良に至りては御試しを願ひ升

是非御家族御同伴御試食の上永き御贔負を願上升

京城本町四丁目交番所筋向ひ 瓢六支店



## 内科 小兒科 村上病院

京城永樂町一丁目(商品陳列館前) 院長 醫學士 村上龍藏 電話六一三番


天氣 くもり 曇但し小雨

▲六月十七日(舊五月九日)

日出 五時十二分 日沒 七時五十六分
滿潮 仁川 午前 … 午後 … 釜山 午前 … 午後 …

…驛前の小山旅館に投宿したるが其擧動に不審なるより錦町派出所の…書記を勤むる當時より馴れ染め居たる關係なるが其後女は釜山にて…だ內地にて高橋は神奈川縣の其郷に手を取て駈落ちしたるを知れ女は翌十二日樓主に引渡し男は倘引續き取調中なり

# 東京大相撲と我社

## 京城日報愛讀者の福音

東京大相撲（鳳、千葉ケ崎一行）の來鮮に際し本社は例年の如く一行の景氣を添へ且つ讀者諸君の興味を深くする爲に左記各項の問題を提供致します。

◆本紙購讀者の木戶割引

京城興行中は勿論左記各地の巡業地に於いては本紙刷込みの割引券御持參の方に限り木戶錢三十錢を二十錢に割引する事に協會員と協定致しました。

釜山（三日間） 大邱（三日間） 大田（二日間） 京城（五日間） 仁川（二日間） 平壤（三日間）

◆銀盃受領力士的中豫想

別項本社贈與の銀盃を受ける力士が誰であるかを當てた方二十人に相當の賞品を差上げます、答案は端書に大潮なら大潮又は三杉磯とか錦島とか一人丈け記して京城初日の前日迄に差出して下さい、的中者が多い時は抽籤によつて定めます。

◆五日間の勝負豫想懸賞

京城興行五日間に於ける好取組五組を出し例年本社が春夏兩場所にやつて居るのと同じ方法で勝負豫想懸賞募集を致しますから今から好角家は今度の各力士に就て御研究を願ひます。

## 我社の相撲道奬勵計畫

◆優勝力士に銀洋盃贈呈

本社は東京大相撲地方巡業中に於ける各力士の眞摯なる奮鬪を期する爲に京城興行五日間の最優勝者（橫綱大關を除く）に本社より特に美術的意匠を凝らした大形銀製洋盃一箇を贈呈してその功勞に酬いようと思ひます。これは本社が斯道奬勵のために特に出した問題で力士も眞劍になれば隨つて觀客たる諸君も餘程興味を感せらるゝことゝ思ひます。

◆番外お好み五人拔其他

鮮滿巡業中は本社各支局より毎日一組宛幕內の番外お好みの餘興を出すと共に京城興行中は毎日幕內の番外お好み、幕下力士の五人拔、或は初切などの面白い餘興を御覽に入れます。

京城日報社

## 戰塵

### ◆過激派の狂暴◆

西伯利亞の住民續々各村に避難す

グロデコーフに於ける過激派軍は愈々出動してポグラニーチナヤ驛より東方十露里の地點を占領したり、東淸鐵道廳は是等過激派に對し更に國境解放に關する談判開始を提議したるも過激派は之に應せず電報の檢閲の如き嚴重に行ひ居れりと、尙ほ情報に依れば過激派は寧古塔の支那官憲と談判を爲すべし其の代表者はグロデコーフより寧古塔に向ひ出發したりと、又グロデコーフより逃れ來りたる者の言に依れば今や同地住民の半數は過激派の狂暴を恐れ既に烏蘇里各地方に避難し居れり又ニコリスクに於ては過激派軍隊用として十萬の牛車を徵發さると露紙は報ず

### ◆亂麻の如し◆

過激派と反過激派入り亂れて

西伯利に於ける反過激運動乃ちチエッヒ、スラウアニヤ族と過激派との抗爭は益々擴大し來り、就中ヲムスクに於て最も甚だしく勞兵會側にて委員の殺さるゝものあり又た監獄は燒拂はるゝに至り、ノヴォニコラエフスク又不穩となり、既に地方軍隊との間に衝突起りしと云ふ、又ハバロフスクに於ても後貝加爾戰線に於てセミヨノフ軍と戰ひ居たりしカリニン執政官が過激派の勢力擁護の爲め急遽戰線より其の部下と共に歸り來りたる程狼狽し居れりと、尙ほ黑龍鐵道全線を通じ反過激派的氣勢漸次溢れ來り爲めに黑龍鐵道廳は沿線各驛に對し訓電を發したり

### ◆政權も兵備も◆

恐く獨墺俘虜の手に掌握せらる

チタ方面より歸來せる者の言に依るにチタは一月程以前に既に同市の政權も兵權も獨墺俘虜の手に掌握されつゝありと、眞疑未だ判然せざるも記して後報を俟つ（哈爾賓）

### ◉大總統は誰

＝形勢一變の兆＝

大總統選擧問題につき段派の某有力者は曰く十月十日正式に選出せらるべき次期大總統の人物如何に就ては各派各異なる見解を有すれども其の最後の決定權は各省督軍に存するは支那現時の政情よりして當然の事なるべし而して從來の形勢に依れば北洋派督軍は勿論揚子江沿岸地方督軍及び西南諸省中の穩健分子は何れも徐世昌氏を大總統たらしめんとの意嚮を有し一般も徐世昌氏を最も有力なる候補者として是認し居たり然るに最近新なる氣分北洋派及び長江沿岸督軍中に生じたりと云ふは他ならず若し現大總統たる馮國璋氏にして各省督軍の勢力を侵すことなく或る程度まで地方分權主義を容認するに於ては殊更に大總統の更迭を行ふの要なかるべしとの意見を有するもの生じ此の氣分は漸次各省督軍の意嚮たらんとする傾向ある事なり若し馮大總統留任とならば副總統には或は段祺瑞氏選出さるゝに至るべし段氏に於ても單に副總統とせずして參謀總長を兼ねしむるか或は其れ以上の要職を兼ねしむるに於いては甘じて副總統に就任を承諾すべしと信ずべき理由あり雖然も正副總統選擧以前に於て南北妥協成立するに於ては北方派も南方派の意見を尊重し或は陸榮廷を副總統に選出するに至るやも知れず尙ほ最近曹錕氏を副總統に擬するものあれども如此きは一部曹錕氏の部下等の運動に過ぎず其實現は不可能ならん（北京）

### ◉ポセット鐵道

將來は世界的港灣たらん

一英國會社の企畫＝吉林と琿春

淸津駐在英國領事アートロイツキー氏は浦鹽に赴き此程淸津に歸りたるが同領事の談に

一英國會社はポセットより琿春及び吉林に至る鐵道敷設の許可を得本年八月を以て起工し琿春に至る線路は一箇年に敷設するの見込みなりと云ふ、されば露西亞人は未だ地價の低廉なるを利用し爭うてポセットに土地を購入せんとしつゝありポセットの土地は少數區域を除き他は國有にして一坪一箇年四錢にて二十四年間貸與せらると琿春に至る鐵道開通せんかポセットの良港は主要の意義を有すべく又若し吉林まで延長せんかポセットは世界的港灣たるべきは明かなり（淸津）

### ◉議員團と營口

衆議院議員視察團一行は十六日午後五時四十五分大連より營口着直ちに小蒸汽船にて遼河を下り東稅關下より上陸領事館の晚餐會に臨み夜は旅館淸林館に一泊十七日午前七時十分發列車にて北行すべしと（營口）

### ◉取引と警戒

間島にては市況沈滯し鮮商間に金融逼迫の聲高く爲めに或は決濟期に至りて二三鮮人商店の倒產を見るが如き形勢なるを以て各自取引に一層の戒を加へ居れり（間島）

### ◉輸城羅南間の鐵道

咸鏡線輸城羅南間の鐵道工事は年度替りより起工すべく淸津出張所にては夫れ〳〵準備する所ありたるが鐵材其他建設材料暴騰にて豫算を變更を來したるを以て更に變更の豫算に就て當局に申請中にありしが今回久門所長が上京して當局と打合せの結果愈々變更豫算にて決行する事となり近々請負に附し工事に着手する筈なるが多分松本組を指名入札の事となるべしと（淸津）

### ◉羅南の陸軍工事

羅南陸軍工事は人夫不足と且つ連日の降雨の爲め工程意の如く進捗せず然れども目下の所にては各隊內增建築物は煉瓦積立を終了し內部構造に着手し其他官舍は基礎工事を了し五舍を棟上げせり（淸津）

### ◉大倉製煉所と火入

久しく火入式を延期し居たる安東の大倉製煉所は大谷所長其他の安東歸任を待ち遲くも本月末迄には火入式擧行する由（安東縣）

### ◉營口の競馬

◆來る廿一二の兩日◆

營口在留外人連は來る廿一二兩日午後二時半より競馬會を開催すべく第一日は五回、第二日は七回たる由出場の馬匹は悉く支那產馬にて例の如く馬券及びガラ札をも販賣すと入場料は外人一圓其他五十錢なり（營口）

### ◉郵便にも制限

既に過般來中部西伯利亞無秩序の爲め歐露の通信杜絕され居れるが今尙繼續恢復の見込立たず爲めに近く哈爾賓郵便局にては郵便物に對しイルクック以東に制限を加へ歐露及び同地以西は全然之れを受理せずと云ふ（長春）

### ◉洮州の寺

[illegible]洮州[illegible]寺內[illegible]の協力と[illegible]有志の寄附により堂宇を建立し竣工したるを以て十六日盛大なる入佛式を擧行せり（洮城）

### ◉空前の豐漁

淸津沿海の漁業は今や漸く盛漁期に入りしが昨今漁獲されつゝあるは鰊、鰯、鱈等にして鰊は本年初漁以來本月十日までにて二百萬尾に達し淸津空前の漁獲あり尙ほ毎日十萬二十萬尾宛の漁獲あり之の勢ならば終漁期までには三百萬尾以上に達せん鰯は六月に入りて漸々漁獲あり五六日頃より俄に數千尾宛の漁獲あり雄基南近城津地方の鯖漁も亦本月七日頃より漸々開始されたるが各地共本年は豐漁なるべき見込みなり又た鰯は本年未曾有の漁獲にて水揚げせるもの約四萬尾に達し空前の豐漁なりし（淸津）

### ◉新義州近狀

新義州府小山內務主任調査

◇商品と金融 米は氣迷委とて出廻り薄く爲めに在庫品漸減し滿洲粟並に高粱の引續き輸入旺盛にして申入差引は入庫を增し相當資金の需要ありしに拘はらず木材其他の新爲替資金の差引回收と共に資金は漸次回收に傾き月末に至り諸貸出金殘金前月に比し七萬餘圓を減ずるに至れり而して一方預金は四萬圓を增加し今後特別事情の發生せざる限り茲暫く資金の需要を喚起するに至らざる可しと豫想さる

◇米價と運賃 米は依然氣迷の域を脫する能はず出廻り稍出共に[illegible]なかりしが[illegible]三等玄米十一圓五十錢[illegible]保合[illegible]荷動[illegible]滿洲粟及び高粱は一層荷動[illegible]又相當荷捌つゝあるこゝにて左のみ相場は低落を見ず歩調裡に保合ひつゝあり

◇季節と木材 木材は引續き好況ながら筏季に入りての目下高値は一寸の餘地ありとして買控への向き多きが如し荷動き比較的尠なかりき（新義州）

### ◉大日本債券支部開設

今回市內光化[illegible]に支部を設けたる大日本債券株式會社は資本金三十萬圓本店を大阪に有し大正七年三月三十日公布の有價證券割賦販賣取締法に據り設立せられ專ら有價證券の割賦販賣並に斡取締法による勸業債券割賦販賣をなす由

### ◉三共社の開業

仁川海岸町田中忠夫氏は十五日より三共社と稱し[illegible]名義にて綿布類[illegible]他鮮人向雜貨の[illegible]せるが同社は三井[illegible]に[illegible]の後援ある[illegible]田村氏は東洋協會[illegible]身にて今回組合理事銀行支配人等に就職せる經驗ある[illegible]

### 炭と大豆と鑛の金郊より

八島生

▣京義線金郊は禿山磽确の一寒村に過ぎざれども內地人戶數六十八戶三百五十あり、鑛の年產十數百石、大豆七八萬石を出し殊に木炭の產地として知られ之が取引の爲め三井物產の出張所あり

▣…るに木炭は先年來[illegible]一部信用失墜せるを[illegible]挽回を圖る爲め[illegible]長寄の後援の下に[illegible]三十七名より成る金郊の木炭改良組合を組織[illegible]其の改良を一々檢査せしめつゝある結果漸次著しく改良の實を擧げ信用を挽回するに至り候

▣木炭改良組合は之を以て朝鮮に於ける嚆矢とし京城に於ても之が組合を組織すべく既に三回の凝議を重ね居る由に御座候

▣尙ほ此の地內地人老幼六十餘名相集り能く働き能く遊ぶ意味に於て矯風會を組織し約二千圓を投じて近々同俱樂部新築の筈に候

◇第七回公演最終編◇
◇舊劇快天丸◇
ミラの祕密
京日讀者優待割引券
活動寫眞黃金館
特別入場料 一等四十錢 二等三十錢 學生十五錢
普通入場料 一等卅錢 二等廿錢 學生十錢
日時六月十四日より（午後六時開場）
（一枚一人共通）
京城日報社

國產靈藥

醫學博士の奥樣が中將湯の愛用者

或る日夫人に聽きました

奥樣『振出し藥などは、舊式だなど、申す人もありますが妾は中將湯を服めば、身體の調子がメキ〳〵快くなつて、鳥渡した風邪位は一服の中將湯でケロリと忘れてしまいます、一體妾には振出しが性に合つて居るのでせうか』

博士が笑つて答へたは

博士『いや振出は舊式どころか、最近米國の醫界でも振出藥（Dedical）は非常の大流行であつて、藥物化學などからみても、眞に完全な藥效作用は振出藥にあることが判明したのです』

子宮病血の道

片時も本劑を離せぬ方は

◉子宮病子宮內膜炎にて白帶下多く而たゞれ下腹脹足の引つり痛む人
◉婦人特有の「ヒステリー」血の道にて氣鬱ぎ頭痛のぼり物を苦にし夜眠ず
◉月經不順月經過少等にて吹出物多く又た何となく身體惡しき人
◉逆上頭痛肩凝り腰冷え ◉息切れ動氣強く手足痺れ水腫
◉十七八歲になりて月經なく血のぼり又た月經前後に下腹痛む人
◉白帶下赤帶腰下多く顏色蒼白き人 ◉冷症にて難產流產等する人
◉產前何となく常ならざる人、嘔吐、產後古血の溜り或は日立惡く
◉此外子宮血の道月經不順に起因する諸病にてぶら〳〵と惡き人

歐米學者の賞讚

"CHUJOTO" known all over the world as the only one of the specific of woman's disease is mysterious in its virtues, and therefore the medical and pharmaceutic scientists in Europe and America are now engaging in the study through a clinical experiment.

本舖 東京市日本橋區通四丁目 津村順天堂本店 電話本局六二・六三 振替東京六〇八番

大阪市堺筋大寶寺町 津村順天堂支店 電話南二五番 振替大阪四六五番

商標 中將湯

# 塚原卜傳

第百八席 悟道軒圓玉口演

荒熊の熊五郎が二ツになれと切込んで來る一刀、ヒラリと躱して小太郎が 小『さては稲葉の兄弟分荒熊の熊五郎といふのは其方か、相撲の勝負を遺恨に思ひ拙者を討たんとは憎くい奴、飛んで火に入る夏の蟲とは汝の事、無用の腕立てして二ツなき命を失なすな 熊『洒落臭エことを吐しやがる、武士も覺悟』と再び一刀執直して切込む處を、體を開いて空を切らせ、蹌踉めく處を忽ち小手を手刀にて發矢と打つ小手が痺れてバラリと一刀を取落す、失策つたと熊五郎、大手を擴げて組付いて來るのを、組ませて置いて利腕掴み、肩に懸けたる岩石落し、闘頓倒と二三間向ふへ投付け、起上らんとする奴を起しも立てず上へ乗りグイと襟髪を執つて捻伏せてしまつた、熊五郎撥返さんとすれど動かばこそ、小『ヤイ荒熊、汝等の力を以つて塚原を討たんなどとは片腹痛し、以後改心をいたさば宜し、剛情我慢に聊かの力を以つて腕立ていたさば此處に於て手足を捻折り五體不具にいたして遣はす、サア何うだ』此時熊五郎 熊『マア少し待つて下さいまし、今貴方は塚原と仰しやいましたが若しや小太郎樣ではございませんか 小『何うして小太郎を存じて居る 熊『エヽ一時の怒りに目が眩み、其上笠を被つてお在になるから顔は見ねえ、大變な失禮をいたしました、私のためには大恩人の若樣、手向ひをしたのは一生の不覺、私は伊豆の熊吉でございます』といふから小太郎も驚ろいて引起し、笠を脱いでよく顔を見ると紛ふ方なき秋山伴作の弟で自身のためには小田原の石牢を破つて助け出して呉れた恩人 小『イヤ、之れは思ひ掛けない熊吉であつたか、さうとは知らず拙者も手荒い事をした、免して呉れ 熊『若樣が相撲取りなぞになつて居ようとは思ひも寄らなかつた、御尤もでございます、之れにはいろ〳〵仔細のあることで、何れお話はいたしますが、若殿樣も何うして此邊にお出なさいますか、兄貴も何ういたしましたか薩張り樣子も存じませんが…… 小『イヤ其事についても話がある、兎に角互に怪我もなくて幸福……』といつて居る處ろへワーッと跡から大勢の相撲取や彌次馬が追掛けて來た、熊吉が 熊『待つた〳〵、之れは俺れの大恩ある御主人、手出しをしちやアならねエぞ』と大きな聲で怒鳴つたから一同アッと呆れて立止つたッ切り、力抜がして見て居ります 熊『兎に角往來で話も出來ませんから其邊までお出下さいまし』と自分が前へ立つて小太郎を案内して近所の一寸した料理屋へ上り、改めて無禮を詫びさていろ〳〵の話しをする、小太郎が 小『不思議な所で方に面したものだ、何うして相撲になつて居る 熊『之れには少し仔細がございます、何をお隱し申さう、石松山で若殿樣と兄貴に別れ、伊豆の眞鶴へ戻りまして親父に其の話をすると親父も喜こんで呉ましたが其後俺はもウ老年いつ死ぬか分らない俺が死んだ後決して忠を忘れるな、一旦若殿樣のお葉に隨つて俺に孝行をして呉れるも宜いが、孝行は私事、忠義の方が大切だから貴樣も兄貴同樣若殿樣に從つて仇讐を討たなければならぬと繰返し〳〵申しましたが、蟲が知らせたといふものか一月ばかり經つ中に急に病死をいたしました 小『ナニ磯右衛門は病死をしたかそれは〳〵…… 熊『其れから私も眞鶴に居た所で仕方がございませんから故郷を立つて久らく大磯へ來て居ります中稻妻庄太といふ相撲と兄弟分の約束を結び、持つて生れた力を恣に相撲となつて諸方廻りましたのも因はといへば若殿樣や兄伴作に逢ひたいためでございます』。

涼しい浴衣地 (三)
まる三呉服店
京城本町二丁目 電話一七二五、一六五

## 暦

六月十八日 九星 四緑 舊五月十日 丙申 本命四緑 蹈滿友引

一白 不用來相談の、有り新中に合札かけ [illegible] ▲五黄 入役掛い事有、新事 [illegible] ▲六白 不進小 [illegible] ▲七赤 [illegible] ▲八白 大勝にして [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黒 [illegible] ▲三碧 [illegible]

## 演藝案内

**有樂館** 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 [illegible]

○社會活劇『瓜二つ』全五巻 [illegible]

**黄金館** 電話二三六六・三三七 [illegible]

○新派大悲劇『手向の曲』全四巻 [illegible]

**大正館** 電話八七三 櫻井町 [illegible]

○探偵活劇『古城の怪事』全四巻 [illegible]

**浪花館** 明治町一丁目 電話二六〇番

六月十九日より開演 △京阪落語々樂會一行 △落語(小遊)△落語物まね(遊玉)△落語手踊(遊玉)△落語音曲(花輔)△落語(幸一)△落語音曲(突出)△落語手踊(右圓遊)△大切喜劇一座總出

**壽館** 京城 電話一一五〇

女流浪花節 正福鋼 笑樂家 賀 嬢改 平一 喜一 一行 六月二十三日より初日

好評の三大寫眞
新派悲劇 手向の曲 彼女に手向の一曲最も悲哀に響く
怪傑 通力太郎 徳川家光の時福島殘黨の旗揚げ
活劇 古城の怪事
大正館

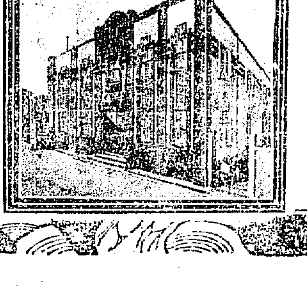
學者の創製したる

美顔白粉

宮家の御料に召さるゝ譯

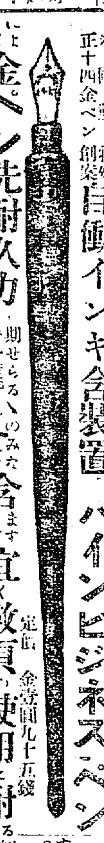
美顔白粉は學者の創製したる、學術的に完全な最も新しい白粉であります。學者の眞面目な研究で出來た白粉ですもの、衛生上から言つても實際上から言つても完全無缺な事は申すまでもないことで、この白粉の、從來の白粉よりも飛拔けて良いといふ事が次第に世に知れ渡り、大變な人氣を引起しましたにつけ、此事何時か高貴の方々の御聞に達し、去る大正二年の三月始めて御用命を賜つて以來、常に御用を辱う致して居りますのです。

生れつき色が白いやうな白さに附く白粉



美顔白粉發賣元
桃谷順天館
東京市日本橋區本町四丁目 電話本局二三〇・一六二六・一六二七番
東京市麹町區有樂町一丁目 (電話新橋二六三九番)賣場部
大阪市西區靭南通二丁目 (電話土佐堀六四七・六四八番)

▲美顔白粉を創製したる
桃谷研究試驗所
所長 藥學士 桃谷政次郎
技師 理學士 西島勇志智
顧問 醫學士 米倉昌達
顧問 藥學士 小野勝次郎
顧問 同醫學士 齋藤銀助
顧問 同藥學士 丹波敬三氏
顧問 醫學士 由谷清氏



米國製 正十四金ペン 特殊創案 自働インキ含裝置 パインビジネスペン

金ペン先耐久力 期せらるゝのみならず一度インキを含ますれば宜く數頁の使用に耐ゆ 定價金壹圓九十五錢

近來商業の需要に加はり的文房具中最も適切なるものを使用する頗る理想的の高等文具として

パインビジネスペン 各銀行、會社、官廳に於て常に使用のペン先に金製のものを使用するは唯「ペン」先を要する軸エボナイト而して此の金製ペン先の背後に密接する特殊創案の鋏入物あるのみ

一手販賣 京城日報代理部 振替京城三〇〇番

## 汽車

京釜線(南行) 同(北行) 湖南線(南行) 同(北行) 京義線(北行) 同(南行) 京元線(北行) 同(南行) 京仁線 [illegible]

京城日報　第五版

十七日朝刊
(朝夕刊を併せて八頁)

本紙定價 一ヶ月金壹圓・郵税一ヶ月金十錢 一ヶ年前金…
廣告料金 一行……
發行兼編輯印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 京城日報社
電話番號…　振替口座京城三〇〇番

…らんとせり而して…の後の市況…
…ルの需要增大せり即之が…

◆事業資金需要 如何に依…

…を發生するに至れり然るに一般金融市場の狀態を見るに浮動資金は可なり潤澤なりと雖も是等の資金の如く從つて昨今市中金利は彼等の一顰一笑に依り高低する趣あり即ち此際日銀が生絲資金の濫出…金の需要に加ふるに上半期决算資金の需要あるを以て徒に例月の例を以て金融の前途を豫想し得ざ…の增加を示さざりしも預金の引出に…あり發換券は三百餘萬圓增加し遂に七億百餘萬圓に上り同時に發行…

…の進水…船を合すれば優に五萬噸以上に達し實に空前の盛況を示せる右の內汽船のみの進水に就て之を見るに廿噸乃至百噸のもの四十四隻千九百噸百噸乃至千噸以上大型船を擧ぐれば左の如し(東京)…既に九十九隻六萬五百噸に達し內…

船名 第一海運丸　總噸數 二、〇八一噸　造船所 播磨造船所

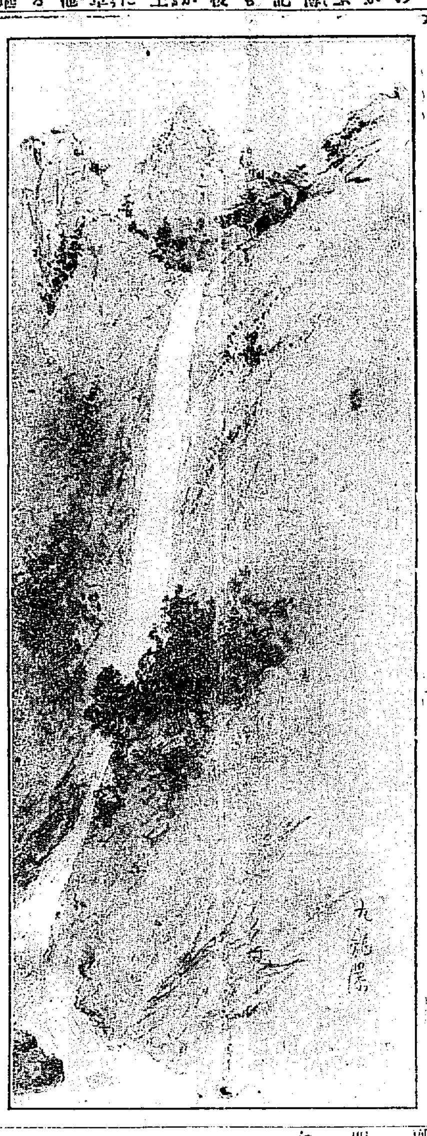
## 支那文學の變遷 (八)
### 今關天彭氏談
### 古文の中衰

古文の中衰時代は南宋から金、元を經て明の半ば頃まででありますが北宋は徽宗皇帝頃で終りを告げて今度は南宋になるが、南宋の文章の形勢は、頗る散漫であり亦卑弱なる嫌ひがあるが、併し其の間に種々の名士が輩出して居ります。其の中の一人二人を擧げて見ると陳亮即ち陳龍川は、意氣豪放であるに相違ないが、粗豪なる嫌を免かれぬ。朝比奈知泉君の文章はこの人を學んだのだそうであります。また呂祖謙即ち呂東萊は、文體の整美して居ることは認められるが何となく卑俗なる點が多いといふ評である。この人の著した東萊博議は明治廿年から卅年比の新聞記者に於ては、隨分盛に讀まれたものであります。是等の二人と前後して宋の學問を大成した、朱熹が現はれて來たが、朱熹の文章は主として韓退之、曾南豐を學んだのである。さりながら朱子の文章は、學んで奥底に達した結果、他に就て學んだやうな形跡を認めることが出來ぬのは、洵に敬服に堪へぬのであります。で南宋の文章はこの人を以て一人者とするに私は躊躇しないのであります。

金の文學界にも色々な人が輩出して居りますが、結局金の終りから元の始めにかけて現はれた元好問(遺山)といふ人こそ金代の文章を代表するもので御座いませう。金一代の文章は大體蘇東坡から流れ出るのであります。

金と南宋とを滅ぼした元の文章は、金の文章の餘風を受けて居るのであるが、虞集即ち虞道園の出たのに依つて、元の文學界は盛んとなり、次で楊載とか范椁とか掲傒斯とかいふやうな人達に依つて一層盛大を致したのであります。其處で虞道園の位置といふものは、恰度北宋の時に歐陽修が出て宋の文章を旺盛ならしめたと同樣な狀態でありますが、併しこの人は歐陽修に比するには力が及ばぬのであります。また元末に出た吳萊(立夫)もカナリ有名な人であります。

次に明となると明初に宋濂(潜溪)劉基(青田)等が出まして文章を隆盛ならしめたのであるが、しばらくにして楊士奇が出て博大平明な趣きのある文章を書き出したので、これが所謂臺閣體の文章といふのであるが、これに倣つて作る者が數多くなるに從つて、其の末流は遂に淺薄な趣きのない文章となつて終つたのであります。この缺點を矯むべく出て來たのは李東陽である。併し其の力が足らなかつた爲めに自分の理想を實現するに至らなかつた。大體から謂ひますと南宋比の方が文章の作者は多々ありますが、大家として數ふべきものは指を屈するに足らぬのであります。斯の如く傑出した人物のなかつたのが因をなして、漸次古文は衰亡せざるを得なかつたのであります。一方駢體文は南宋の時に於ては唐代の陸贄に頡抗する程の名家が輩出し、如何にも巧みになつて來たのであるけれども、これ亦漸次衰へて、元となり明となると陸贄の時代から詔勅には殆どこの駢體文を須ひて居つたのが明の詔勅は之を須ひずして、漸次駢體の文章は世間からその姿を隱すやうになつて終つた。これと同時に高等文官試驗に須ふる文體即ち八股文が非常な勢を以て流行を來した。そこで古文は層一層の衰退を見ることになつたのであります。


金剛山三題…九龍淵…生田大癖畫

## 新自然主義 (三)
### 鈴木大拙

パンの神とは希臘人の一部分が崇めた異形の存在である、體の上部は人間のやうで下部は山羊のやうである。さうして頭に一双の角を戴いてをる。之れは牧羊者の本尊で好んで山林荒野に棲息してをる。此の神が發明した笛にシリンクスと云ふのがある。一たびは是でアポロと音樂上の競爭を試みて負けたことがあると云ふ。何時の頃よりか此の神は自然即ちネーチユアと看做される樣になつた。かくして彼は希臘の神々の全體を代表する者となり、異教徒の崇拜の對象と考へらるゝに至つた。其れが基督の生れた時、爰にも言つた如く『大なるパンは死んだ』との叫が希臘の原野に響いたと云ふのである。或意味で言へば基督は理智の宗教で、一神教の合理を唱へんとする。其れ故異教徒の如く八百萬の神々があつては知性は之れを承知せぬ。基督の生はパンの死を意味すること固より理の當然である。併し新自然主義から見ると是は悲しき事實である、パンの神があつたり、オリンプスの諸神があつたりすると此の世の中の寂寞は何んとなく慰めらるゝやうな氣がする。宜なり、ウオルズウオルスは『最早や此世の物淋しきに堪へぬ』と云ふて長大息し、シラーは又『希臘の神々』と題して古代の諸神仙が日々に寂れ行くのを嘆いたが、ゲーテも理では基督を肯はねばならぬが、情は今も尚森の神、海の神の存在を認めぬわけには行かぬと云ひ放つてをる。太陽を望遠鏡で見て今年は黒點は殖たとか殖ゑぬとか云ふよりも、日々窓に當りて旭日の輝くを見る度に、フヒバスの車が雲を驅りて今日も亦中空を横ぎると思ふ方が、此人生の詩趣をして無限に豐富ならしむる所以ではないか。新自然主義は總てを詩化し、美化せんとする處にも見はれると云ふてよい。固より昔のまゝの神々が亦活き返ると云ふのではない。科學的精練を經てから後、更に詩化せられた神々の復活を云ふのである。パンの神に就いて言へば、半人半獸と別々のものではなく、又半人の部分が半獸の部分に轉化せんとするのでもなく、實に下部の半獸的生活をして人間と云ふ者に向上せしめんと勉むる處、其處にパンの神の意義があるのである。人が獸に引つぱられるのではない。又人が獸を殺して仕舞ふと云ふのでもない、獸は獸として而かも人らしく、神らしく之を化して行くのである。人と獸との間に調和が出來て、世間に自然の妙用が現はれんことを欲するのである。基督のやうに獸を全惡の者と見て必ず全く之を殺さんとするのではない。獸は獸であつても其働きに自然の處があつて如何にも思ひ無邪の妙趣を得る是が新自然主義の骨髓の處である、希臘神話のパンには寧ろ獸的元素の目に著くを覺ゆる。之は吾等の採らぬ所である。

## 並行線 (十)
### 瀧閑村

翌日は朝から悔みに來る人や、手傳に來る人の出入が多かつた。夜が明けてから西風が出て、急に寒くなつた、手水鉢には厚い氷が張つて、冴返つた空の北の隅には一所に吹寄された白い雲が凝つて動かない。

『復冬が來ましたね。』

『いやどうも、一旦暖になつてからの寒さは餘計堪へますよ。』

來る人は皆こんな挨拶を交はしてゐた。

光一は昨夜から葬式の費用の事が胸に閊へた。月々の生計の不足を補つてゐた其出所には人に云はれぬ苦痛があつた。今度の葬式もいくら安く積つても百圓以上要る。少しは香奠も集まらうが、それは殆んど返禮に宛てなければならない。父の知己や門弟などの手前さう見窄らしい事も出來ない。近くにゐる義弟は學校の教師だから是とてもそんな相談には乘れぬ、纏まつた金を融通して貰へる人の前へ出るとそんな話が出來ない、話の出來る人には金が無い、せめて宜太郎でも傍にゐたらと思ふが、それも仕方が無い、どうしても要るだけの金は要る、――

寒さの爲か朝からシク〳〵痛む腹を懷爐で押へて光一は金の工面に出掛けなければならなかつた、心配と睡眠不足で頭がフラ〳〵してゐた。

早朝駆付けた義弟が死亡屆を書いて來て、

『義兄さん、是へ判を押して下さい、私が市役所へ行つて來るから。』

『それでは御苦勞だが。』と用箪笥から實印を出し名の下へ押して、

『屆なんかはイヤに書式が面倒だから、判を持つて行つた方がいゝだらう。』

『さうですね、それぢや借りて行かう。』と義弟は判を自分の袂口へ入れて起たうとした時、光一は氣が付いた。

『ア、其判は私も入用だつたから……斯うと、それぢや出る序に私が屆けをして來よう。』と復取返した。

『貴方御飯は?』と傍で妻が訊く。

『さア、私は今欲しくない、晝と一所にする、私は一寸出て來る、葬儀屋の者が來たら、宜さそうなまア中の中位な處で極めて置くやうにして。』と義弟に云ひ、皆に挨拶して光一は家を出た。

けれども實は何處と云ふ目的は無かつた、銀行の代理店主の江藤ならば話は付くかも知れぬが、不義理な負債もあり、殊に金より外に權威を認めぬ男だから、其恩を荷ふ苦痛に堪へられぬ、光一は俯向いて知己や友人の名を頭の中で繰つてゐた。傍を通りぬけやうとした俥が停つて、

『池谷さん、此度は飛んだ事で嘸御愁傷でせう、大變急な事でしたね、實は今お悔に行く處で……』と云つたのは、父の謠曲の門弟である會社の重役だつた。光一は慌てゝ、

『有難うございます。態々恐れ入ります。』

俥は行過ぎた。懷爐が消えたか寒くなつて胸が激しく痛む。

『仕方が無い、またあれの中から融通して置くか。』

と口の中で云ひ乍ら逆戻りするやうに四方を見返つた。

我家の門に『忌中』の札が白く見えた。

水枕看山　竹浦 村上定
十里烏行接柳堤。水邊一枕涼淒淒。宿人終日看山好。倒影層巒落野航。
蓍堂曰、杜句云、野航恰受兩三人、亦覺似之乎

雜感　東山 鈴木丈之助
劍書千里外。飄泊歸如緣。獻上憐。三月滿關晴好。落花春滿路。新樹綠江邊。杜宇一聲叫。無端動客思哀。
蓍堂曰、一讀淒涼悲

和田山郷在余　花野 中野有光
山列翠屏千仞聳。江流繞砌廻波瀾。搖風怒捲空泉。莫是潛龍欲上天。
蓍堂曰、迅雷次上天、必有英傑起乎

諸友二十五年記念論文集刻就書喜　土肥慶藏
寰海論文集燦璣。浩翰成章有道歸。文沙東西窮蘊奥。術談今古入精微。眼中針砭審盲疾。皮裏陽秋造化機。剖析分明陽輿書。春回新歳永相依。
蓍堂曰、一冊二千三百頁、不爲不夥、開論文集、如此未曾有之

曉上千光寺　寺在尾道同宇部宮敬風三谷耕雲遊　仙坡 勝島仙
曉先啼鳥度峻嶙。苔磴一層雲一層。隔煙凝。遙遍遠島入立。敷麻自見靈眞理。問答払多禪上乘。脚底玉澤明若玉。金光閃閃証磯身。
蓍堂曰、千光寺絶景、冠于山陽、詩亦所以擅其美


## 『花扇』景品付賣出當籤發表

先般來景品付賣出中の處愛煙家各位の御愛顧に依り豫期以上の好況を呈し昨十五日本社樓上に於て警官新聞記者關係有志立會の上嚴正なる抽籤の結果左の通り當籤致候間謹告仕候

壹等（壹本）呂絹綸羽織一反　（イ）三六號
二等（二本）帶留又は友禪羽二重片側帶　（ロ）二號　（ロ）七六號
三等（三本）上等女帶又は反物　（イ）一二號　（ホ）一二五號　（ロ）五二號
四等（二十本）浴衣一反宛
（イ）五〇（ニ）四九（ハ）九五（ロ）八六（イ）三二（ハ）七二（ホ）二一七（ロ）
六六（ハ）八七（ホ）五四（イ）九六（イ）六四（イ）一〇（ヘ）七一（ロ）六
（ハ）三八（イ）三八（ニ）三四（イ）一〇〇（ホ）五七
五等（四十五本）女帶締一本宛
（ロ）一九（ロ）二〇（ロ）五九（ニ）五九（ロ）四三（ホ）四四（イ）四五（ヘ）
七三（ハ）四〇（イ）七三（イ）五三（ニ）三七（ハ）二八（ハ）九二
（ハ）九〇（イ）一一（ニ）一一（ホ）七〇（イ）七一（ロ）八八（イ）二六（イ）
二二（ニ）九九（ホ）五（ヘ）七八（イ）九一（ヘ）六五（ハ）七六（ハ）一〇
〇（ロ）三（ホ）七六（ヘ）三七（ニ）二一（ヘ）七四（ハ）九三（ロ）八三（ハ）
八四（ハ）一二（ロ）四五（ハ）四八（イ）六七（ホ）七〇（ロ）一六（イ）一八
等外（六等全部）ハンカチーフ

引換場所　京城　朝鮮煙草株式會社
引換期日　七月十日限り

朝鮮煙草株式會社

ポケット顧問　や此は便利だ

◆新聞雜誌の記事や社交上の對話中に日常盛に使はれて居てさて實際その意味の判然せぬ新語が澤山ある!
一官僚政治○事大思想○八八艦隊○敵本主義、三A主義○優種學○安全第一○傳統主義○未來派○側面結婚○工業動員○白書○空論○タンク○マンモニズム○デモクラシー○モンロー主義○デカダン○マラソン○ダンピング○ハンデキャップ○プレミアム○體驗○味到○幻滅○陣笠○成金○八百長○暗中飛躍○年輩を入れる!
一等の現代流行語一切を網羅解說し別に『現代的書簡文字便覽』を添ふ。眞に實用第一の書

下中芳岳先生編著　新知識の鍵・常識の寶庫
四六版五百頁　定價八拾五錢　送料六錢
東京淀橋町柏木四三六　平凡社　振替東京…

堅牢無比　パイン『學生號』萬年筆發賣

特價貳圓八十錢也
京城日報代理部

自宅修習　宮殿下台覽
和洋裁縫講習錄
文部省檢定試驗委員 共立女子職業學校教師 執筆
月謝卅五錢 卒業壹ヶ年 一見本附規則郵券二錢送れ、入會の好時期
生徒募集
和洋裁縫科・洋服裁縫科・和洋裁縫小物科・細工物科・袋物科
國民道德・教育學・裁縫教授法・色染・試驗問題解答・洗濯 等を全部教ゆ、不明の處は質問自由
裁縫の本は多いが何れも裁方を並べた位で裁縫など殆ど教へてないから自習用にはならぬ本會は特別の方法により全く學校にて教授すると同じく何人にも分るやう多數の圖を加へ詳細丁寧に說明し自宅に居乍ら東京の最高な裁縫學校卒業と同樣の學力を授く
新學期開始　人が學校に行くをうらやむ要なき文明時代來る速に入會せよ
東京市神田今川小路三　日本裁縫教育會

購買　臨時土地調查局
一、罫紙 外二點
詳細 十五日以降ノ朝鮮總督府官報ニアリ

京日案內
▲申込後中途取消の節は料金不返戻 ▲六回以上の御申込は特に割引のこと ▲御名宛は必ず數字の番號御記入を乞ふ
普通 一回前金五十錢　番外 一回前金一圓

普通
◎看護婦及見習看護婦並藥局生至急入用　明治町 發化病院 213
經驗ある藥局生二名看護婦及見習者至急入用 希望者は左記へ　仁川、城日報仁川支局
◎乳母入用 但御預け致しても宜し（電話六九八番）太平通り二の四五 更科支店 203
▲金融 月收の方に極秘信用貸 御報伺上候又は御來談　京城本町五電車終點 大和屋質店 209
店員、服物職人入用 希望者午後四時より來談　龍山榮町 平田屋呉服京染店 211

番外
告ぐ 原田令朝六君に 至急用事有る至急歸れ又病氣の節は左記へ葉書にて住所知らせよ　京城府安國洞三九 尹奎榮 212
宏大なる朝鮮建物拾伍坪住所在北米倉町四十番地內 右賣却す　南米倉町八八 電話一一九〇 齋藤出張店 194
◎左官用布海苔 銀杏草並に櫻草 諸海草御問　全羅南道木浦府 山本萬次郞商店 149
舊恩給 立替五ヶ年半迄利子 月一歩三厘本人直接取引　櫻井町一ノ一九八 長電二五〇番 博多屋本店 201
看護婦三名入用 至急 見習は本人來談あれ　黃金町二丁目電話二八三七番 朝鮮診療病院 216
寢台車 安價叮嚀 患者輸送に取扱致す可く候　永樂町二丁目電話二六八九 岡本組 217
古本高價買入　京城本町三丁目 東京堂書店 207

最新刊
印度の現勢　信夫淳平　二、六〇
簡易機織法　渡辺勉　一、八〇
香料の研究　二、五〇
獨逸膨脹史論
土壤肥料　小川　一、五〇
心靈現象の問題　小熊虎之助　二、〇〇
バイロン傑作集　木村鷹太郎　二、七〇
千代菊清一
ニコ〳〵双紙　松山思水　七〇
日蓮聖人物語　高須梅溪　一、四〇
聖婆　一、〇〇
料理小說集　七五
朝顏栽培秘訣　一、五〇
家としての正岡子規　一、六〇

京城本町　大阪屋號　電話…　振替京城…
（本店）東京（同店）大連、旅順、奉天、釜山

## ◎西伯利政府新機關
### 勞兵會の政權全く失墜す

哈爾賓經由在哈爾賓西伯利自治政府の受けたる電報に據ればニコラエウスク、トムスク、バルナウルに於ける勞兵會の政權全く失墜し同地市民の決議に依り西伯利政府の新機關成立し其政權を掌握するに至れり猶該政府は鐵道沿線各都市を聯合せしめ其政權下に從屬せしむ可く暗中飛躍を行ひつゝありと（哈爾賓特電）

## ◎過激派軍旅客檢閲

グロデコフとニコリスク間客車の運轉復活し是れが爲めに乘客檢閲兵を置く事となれり而して大部隊の赤衛軍はグロデコフ防禦上最も重要なる位置と認められたるソスノワヤ附近に集中しつゝありボクラニチナヤ、グロデコフ間の多數の旅客は馬又は馬車を用ひつゝあるが過激派は是れに對しセミヨノフ軍に參加せんとする者又は間諜に非ざるかを嚴重審問しつゝあり（哈爾賓特電）

## ◎英國航空隊の殊勳

十四日の戰鬪に於いて我航空隊は敵の重砲を攻撃し爆彈を以て敵を沈默せしめたり是れ開戰以來の新功績なり（倫敦電報）

## ◎敵潜航艇威力減少

英國水道の中央以西に於ける敵潜航艇の暴威はゼーブルジユ、オステンド封鎖の後著しく減少せり（巴里電報）

## ◎米國食糧貯藏實施

米國食糧管理局は今回食糧の一日平均量を發表せり右に依れば米國は義勇的食糧貯藏に依り自國民一億一千萬人の外歐洲に於ける一億二千萬人の食糧を供給しつゝあり而して戰爭中之れが供給を繼續す可し（桑港電報）

## ◎米國建造船舶激增

大西洋岸に潜航艇襲擊開始せられし以來十二日迄に米國船舶十隻二萬六千噸を擊沈されしが此間米國は十萬噸の船舶を建造せり（ボストン電報）

## ◎米國飛行郵便奏功

自由發動機を据付たる一飛行機は郵便配達夫一名を同乘せしめ四十二分間にて紐育より費府に到著せるが其速力は一時間百四十七哩の割合なりき同機は出發後卅分後に遭遇せる暴風中を突破せり（紐育電報）

## ◎臼井氏歡迎會

當地滯在中の臼井哲夫氏はホルワット、プレシコフ、コルチヤク氏等と面會し十四日夜盛大なる露官民の歡迎會に臨めり（哈爾賓特電）

## ◎農銀融資金貸出
### 昨年より約三割の增加

漢湖農工銀行にては例年成融資金の貸出しを同行營業區域内たる各道の發達組合に短期にて行ひ來れるが農家の金融を扶けつゝあり既に約十日前より日々二三萬圓乃至五六萬圓の申込みを受け目下の所約六七十萬圓の貸出しをなす見込なるが同行にては米國生絲制限斷行の前途を慮ばかりその貸出額は同一數量に對し時價見積昨年より二割内外方減貸し居れるも然も之れを前年に比すれば總額に於て約三割内外の增加となるべく尚ほ江原京畿忠淸各道に於ける蠶業の進展と繭價の高騰による資金撒布額の增大を見るべしと

## ◎電報漸增す

商界は夏枯期に入れるも然も内地朝鮮間並に朝鮮各地間に於ける電報の發著數は毫も減退せず寧ろ增進一方にして京城郵便局の如き一日の取扱高一萬七八千通を上下しつゝあると更に梅雨季に入り内地は霖雨打續く關係上電信線の漏電多く通信の故障少なからず勞々一般電報の遲延少なからず各方面の苦情頻出の姿なるが電線の現狀と從事員の能力よりその今日以上の速達は困難なり

## ◎日露貿易

日露貿易の四月中輸出は五十六萬一千圓輸入は……六千四萬五千圓にして之れを前月に比すれば出に於て二十二萬一千圓を減じたれど入に於ては二十六萬五千圓を增加せるが輸入の增加は大豆及び豆粕にあり尚ほ一月以降の累計は輸出三百十四萬九千圓輸入百五十三萬二千圓にして之れを前年に比し出に於て三千零三十五萬六千圓を減ぜるも入に於ては八十二萬七千圓を增し居れり

## 大阪だより

△鐵道收入激增 國鐵大正……り二千四十八萬七千圓運賃收入は八千七百十五萬七千圓同く千七百五千五萬三千圓を增加し旅客は二……

△米造船進水記錄 米國船舶管理局の發表に曰く五月中の進水船舶は七十一隻三十二萬四千……鐵船三十九隻二十二萬八千七百五十噸木造船三十二隻十一萬八千八百噸にして四月中に於ける進水よ……

▲特種紙輸出好況 米國政府の禁輸の爲めライスペーパー……は漸く愁眉を開くに至れりと……市價も又昨今は回復し輸出業者……ざるも活潑を呈するに至りし依れるが右現象の主因とも見るべき……は強ち六ケ敷事にはあらざるべしと（大阪支局）

## ◎外米輸入激增

……して之れを昨年同期の二千萬八千六百三十八石價額二百四十三萬三千二十四圓に比すれば數量六十三……ため外米の需要激增の結果なるべきも今後當分の間政府が外米管理令を適用して其の輸入を繼續す……

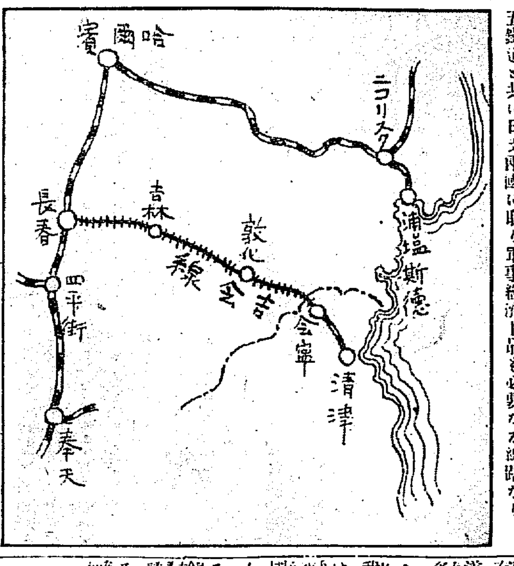
## ◎吉會鐵道敷設問題
### 借款二千萬圓の成立

某方面を代表して北京に赴ける西原龜三氏は今回支那政府代表曹汝霖氏と商議を重ねたる結果二千萬圓の吉會鐵道借款を締結し十一日北京に於て

△正式調印を了したりと云ふ該鐵道は吉長鐵道の終點吉林より淸會線の終點たる會寧に至る約二百七十哩の鐵道にして其沿線一般に山岳丘陵起伏し耕地面積甚だ少しと雖も地味比較的豐饒にして將來各種の農產物多量に產出の望みあるのみならず天寳山其他有數の金銀鐵鑛及び森林あり該鐵道敷設の曉は日支兩國の利する所多大なるべし尚ほ支那政府が

△該鐵道借款に關し特に我國に商議を開始するに至りたるは日淸協約第六條『淸國政府は將來吉長鐵道を吉林南境に延長し韓國會寧に於て韓國鐵道と連絡すべく一切の辦法は吉長鐵道と一律たるべし、開辦の時期は淸國政府に於て情形を酌量し日本政府と商議の上之を定む』の規定より來れる當然の結果にして中外諸國より何等反對を受くる事なしと

吉會線路圖 今回借款契約成立せる吉會鐵道は吉林より會寧に至る約二百七十哩の鐵道にして大正二年十月五日日支兩國間に敷設契約成立せる開原海龍間（百二十三哩）吉林海龍間（百十哩）四平街洮南間（百八十哩）洮南熱河間（四百七十哩）の所謂滿蒙五鐵道と共に日支兩國に取り軍事經濟上最も必要なる線路なり




## ▼吉會線建設費
### 某有力者談

吉會鐵道の敷設に就ては日淸協約に據り其建設費の半額は南滿鐵道會社より借り入るゝこと、爲り居るものにして他の半額は支那政府に於て支出を要する次第なれども同政府に於ては目下其餘力なきを以て日本の某方面の借款を申込み即ち今回の吉會鐵道借款契約の調印を見るに至りたるものなれば今回同借款の成立したる以上は別に二千萬圓を南滿鐵道より借入るゝこととなるべく大抵是れにて全線二百七十哩の建設に不足なき勘定なれども若し不足を生じたる場合には其不足分の半額は同じく南滿鐵道より借り入れ他の半額は自ら調達するの運びに至るべしと豫期せらる

## ◎小額紙幣損傷引換改正

十四日附官報大藏省令を以て小額紙幣の損傷紙幣引換に關する件第三條改正せられたるが右に依れば小額紙幣にして表裏兩面を具備し其三分の二以上を存するものは其全額を拂戾さるゝも五分の二以上を存するものは半額を以て引換へられ又表裏の模樣大部分認識し難きもの貼彩等に依り眞正の小額紙幣と認めらるゝものは同じく其券面の半額を以て引換へらるゝ事となれり

## ◎電話の不足

本年遞信局に於て新設する電話の口數は合計二百七十口にして既に京城釜山平壤を始め各電話交換局に割り當てを終り居れるが商取引の一般的膨脹と諸工事の進捗に伴ひ市況殷賑なる結果商家の電話新規申込は頗る多く京城、平壤、羅南の如き何れも前年來の不足は本年の配給數を遙く超過し居れる由にて市中電話不足の聲高きも如何ともし難しとの事なり

## □米國戰時金融
### 通貨信用大膨脹

世界的大戰の米國金融界に與へたる影響は之を約言すればインフレーション（膨脹）なり正貨は激增したり銀行勘定は擴大したり通貨及び信用は大膨脹せり從つて物價亦暴騰したり茲に最近に於ける米國戰時金融狀態を力めて事實に徵して概說すべし今同國中央銀行たる

△聯邦準備銀行の昨年末勘定と一昨年末勘定とを對照するに金準備は七億五千七百萬弗より十七億二千萬弗に手形買入又は割引高は一億五千七百萬弗より九億五千六百萬弗に有價證券其他投資額は二億二千一百萬弗より十億六千四百萬弗に預金は六億五千四百萬弗より十四億五千七百萬弗に銀行券發行高は二億七千四百萬弗より十二億四千六百萬弗に皆悉く急激に膨脹せり尚市場銀行として國立銀行勘定を見るに前同期の比較に於て預金は九十九億弗より百十三億弗に貸出は八十三億弗より九十五億弗に公債所有高は七億弗より十五億弗に各々激增し前後一箇年を比較對照するに聯邦準備銀行勘定に於て

△金準備激增して約二倍強に躍進せるは最も注目に値すべし其の原因は彼の金輸出禁止中央銀行の金券回收方針並に銀行法改正の如き就中最主要のものなり昨年六月廿一日聯邦準備銀行法改正せられし結果從來各銀行の預金準備金は手許金及び聯邦準備銀行預金より成りしに茲に預金準備金は手許金は除外せられ單に中より預金に限らるゝに至り又聯邦準備銀行の組合銀行は事實上は國立銀行に限られたりしを昨年來州立銀行及び信託會社を勸誘して加入せしめ尚組合以外の銀行と雖も中央銀行に勘定を集中せしめ彼此相俟つて聯邦準備銀行の諸勘定の大膨脹を來すに至れり之に伴ふ

△通貨信用膨脹と物價の昂騰亦著しきものあり現在米國通貨流通高は人口一人當り約五十弗と推測せらる我國一人當りは約十二圓なるべく即ち殆んど我が十倍にして從つて亦物價は之を一九一四年の戰前に比すれば昨年末に於て約八割二分暴騰せり現在及び將來に亙り米國經濟界はインフレーションの問題換言すれば金過剩に伴ふ種々厄介なる問題に惱まさる可く既に之が防遏策として施設せらるゝ所尠からず或は資本發行委員會を組織して十萬弗以上の新發行は一切此の委員會の認可を經るを要すと定め本年一月より實施したるが三月廿八日同委員會報告に依れば相應の効果を擧げ居れるが如し又或は聯邦準備銀行より各銀行に對し

△生產分配に直接必要なる資金貸出を手控ふ可く注意を發したり紐育手形交換所組合の五十八の銀行は本年三月十九日預金利子を協定し四月一日より之を實施せり即ち定期預金は最高三分五厘（外國勘定預金は例外）とし當座預金は聯邦準備銀行手形割引步合二分の場合に最低一分最高三分と定め同上割引步合五厘を增す毎に預金利子四分の一分を增す預金利子協定は寔に今回を以て嚆矢とし特に注目せらる尤も一八五八年以來七三年八四年の前後三回問題に上りしも毎に立消ね終りたり然るに預金爭奪の爲め利率を騰上げ銀行は採算上甚だ不利に陷り覺に此協定を見るに至りたり

△銀行募債援助 本年二月六日大藏大臣は全國二萬五千の銀行に左の如き依賴を電達せり「各銀行は自行資本總額百分の一宛每週積立て之を以て大藏證券を買入れ可成資本總額の一割迄之を繼續せられ度し」政府は今後約一週間毎に大藏證券を發行し六月末迄に卅億弗を發行すべし之を以て第三回自由公債に振替應募せられ度し最近調査に依れば全國銀行資產總額約三百億弗、政府は四月六日第三回自由公債を發行し最後の拂込期日を八月十五日とせり○終りに戰時金融組織の大體を云へば商業資金は聯邦準備銀行中央に控へて各銀行をして供給せしめ工業資金は戰時的必要に基く資本需要の安增を豫期して戰時金融會社（資本五億弗卅億弗迄の社債發行を許さる）なる機關を特設して此需給に應せしめ農業資金はフエデラルランドバンク（昨年三月開設）の機關の活動に俟つ（山本東京支店長談）

## ◎支那大軍派遣說

支那政府はダウリヤ方面に大軍を派遣せんとの說あり尚支那軍は北京より野砲七門吉林より機關銃四門を當地に持ち來りたり右は不日ボクラニチナヤ戰線に送らる可しと（哈爾賓特電）

## ◎龍前督軍銃殺さる

李純江西督軍の黑幕として有名なる前陝西督軍龍建章は東三省にて土匪煽動の計畫中十四日天津にて奉天軍の爲めに捉はれ銃殺されたり（北京特電）

## ◎菓果生產過剩

本年の朝鮮果物生產豫想に付某當局者の談を聞くに開花時季外多雨なりしため梨は成績良好ならざるも林檎の狀態は頗る良好にて更に各地の樹齡はその結實に最も恰當する時期に入りしを以て醸島の如き一本にしてよく千個以上をつけたるあり恐らく少なからざる生產過剩を見るべく既にその販路に付相當手段をとりつゝある向もあり

## ◎全北林野調査

全北道に於ては全州郡を始めとして愈々近く林野調査開始の運びに至る可きが左記地域内に於て土地臺帳に登錄されて土地を所有するもの又は朝鮮林野調査令施行規則第一條に規定する緣故者は左の期間内に同施行規則第二條の規定に依り申告書を土地所在の面長に提出すべく及び右規則に依る標抗を建立すると又同期間内に施行すべしと

▲南林面、伊東面、伊西面、朝村面は自六月十二日至七月十日迄、茂山面、參禮面、飛鳳面、鳳東面は自六月二十日至七月二十日、三寄面、東上面、雲面、雲東下面、高山面は自七月一日至七月三十一日

## 人事消息

▲關忠氏（平北朔州三井物產技師） 十六日夕入京浦屋旅館へ
▲北野三郎氏（支那天寶山鑛山技師） 同上天寶山へ
▲木村健夫氏（木浦商業會議所會頭） 十六日夜退京
▲橋本京氏（三菱理事） 同上

## 百聞百種

英國の戰時氣分は近來益々緊張して來たが特にジヨージ陛下の御意氣込には英國民全體が心の底から感佩して居る▲皇帝は宮中にあつて酒類一切を穴藏に納めて戰時中は一切之を用ひられぬ事に決せられ皇后も英國食糧管理局の發行する肉祭を受けて之に依り肉類を需められる丈けで規定外の肉類は絕對に用ひられぬ▲此程米國の使節がバッキンガム宮殿に招かれた時に出た料理は魚一皿ローストビーフ一皿、菓子一皿だけで行たそして飲物も水ラムネ、ジンジヤーエール、サイダー以外には何も出なかつたさうだ▲宮廷に於ける召使も大分減員され御獵地の番人なども全部解雇されたので折角の禽鳥も近頃は全部野放しになつてしまつたさうだ▲此間名古屋の奥田正香翁の所藏品入札會で伊藤春畝公の行書七絕の双幅は確かに眞價値があるとかで三千圓と云ふ高價で落札されてゐるが尋常普通は綿つて置ても値が出る

前陸軍大臣楠瀨中將閣下入京セラレ候ニ付左記ニヨリ歡迎會相催候間御賛同御來會希望致候

左記

一、日時 六月十七日（月曜日）午後六時半
一、場所 花月樓
一、會費 金五圓也 當日御持參ノ事
一、申込場所 花月

大正七年六月十六日

發起人（イロハ順）
市川堅太郎 遠山熙 岡田榮 立花小一郎 久保要藏 山口太兵衛 古海嚴潮 趙重應 木本倉二 持地六三郎
萩谷籌夫 小原新三 金谷充 中村再造 釘本藤次郎 馬詰次男 國分三亥 阿部充家 美濃部俊吉 鈴木穆
朴泳孝 大垣丈夫 川上常郎 荻田悅造 具然壽 牧山耕造 國分象太郎 阪出鳴海 人見次郎
以上

資本金壹百萬圓 京城 株式會社 漢湖農工銀行 支配人 遠山熙
不動產ヲ低當ニテ長期低利ノ貸出致候
支店 開城、春川、大田、江景、公州
所在地 滿州、忠州、論山、鐵原、鳥致院
普通銀行業務は確實親切に御取扱可申候

新荷著（目錄贈呈）

山葉樂器朝鮮代理店 京城本町二丁目二十九番地
販賣元 釘本樂器部 電話二八三番

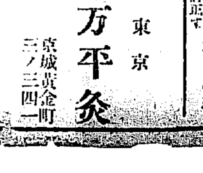
朝鮮總督府平壤鑛業所海軍工廠其他各官廳諸工場 御指定品
◉金紙一號印 新高速度鋼
◉銀紙二號印 高級バイト用鋼
高級バイト用（理想燒入攝氏千三百度位）品質純粹保證（タングステン一五パーセント以上）
◉白紙 タガネ子用精圓鋼
◉青紙 道具用鋼
鑛山用品 虎印一級 青紙 八角鋼
各種鋼一切 汽機汽罐 喞筒工具 在庫豐富（商報御申越次第進呈）
東京鋼鐵株式會社 東亞製鋼株式會社 朝鮮總代理店
中村式鑛内用 押揚喞筒製作發賣元
京城南大門外 電話一〇〇四番 中根商會
京城岡崎町 電話二六五番 中根工場

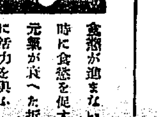
ゴム風船
ゴム風船、ゴムマリ、ゴムホール、ゴムゾツキ、ゴム原料各種製造問屋
東京市神田區通新石町十五番地 西村多吉商店
電話神田四五七番 振替東京一五三九三番
▼見本御入用の向は郵券二十錢御送附願上候

登記公告
横城地方金融組合登記事項中左ノ通變更登記ス……
京城地方法院横城出張所

朝鮮總督府遞信局 競爭入札購買
一、木材類
詳細六月十七日ノ本府官報ニ在リ

總監部御認可、衞生無害
イヤナ 蠅取散
◉郵券十七錢封入申込あれば見本一袋送る……
△特約店及行商希望の方照會乞ふ
京城南米倉町 交番所前 島田藥房

東京 万平灸

京城黃金町三ノ三四一

日本及歐米十三ヶ國專賣特許
胃腸最新藥
チケスチン

食慾が進まない時に食慾を促す元氣が衰へた折に活力を與ふ貧血のものには血液を補給す精力の增進と體量の增加を促す
東京本町 藥種問屋

醇良清酒

大阪府堺市 醸造發賣元 肥塚源次郎
京城本町一丁目 特約販賣店 佐藤牧太郎 電話長二九番

[illegible]六千圓にして前年より三[illegible]百十七萬七千入貨物噸數は四千六十三萬三千四百噸進水の割合なり記錄なりし一千九百一年に於ける[illegible]居すのみに止まり[illegible]に市價も及低[illegible]格は例年三月を以て[illegible]而し本邦品の品質良好にして[illegible]設地降六月十日迄累計外國米輸入[illegible]額を見ると[illegible]如く[illegible]總額[illegible]五十六萬四千餘石に過ぎ

八百九萬千圓餘を增加し其中旅客收百八十四萬千圓同く六百三十二萬　此進水は新記錄にして同月は又引一箇年間の進水總噸數に比し僅に落したるが其後米國政府の一部解居れるも女傘は品物の例年に比し人、在住外人の好評を博するに於ては八十五萬八千二百三十五石價額四倍價額に於て約七倍の騰くべきさるも本年は目下の處約三百萬石

八に八千五百十四萬八千圓昨年より七千噸を增加せり　渡しの新記錄を達れり此內には第五萬七千八百八十六噸少なきに過ぎ　禁に輸出は從前の如く迄とは行かず僅少なりし關係とにより跡註文の　ては新らたなる販路を確實に占有　一千五百七十九萬一千五百二圓に增加を示したるは內地米價騰貴の　に達すべき見込なりと（東京）

# 朝鮮の鹽

## ◇盛んな天日製鹽

### 朝鮮では何程食ふ何程鹽が出來る（二）

總督府專賣課長　平井三男氏談

◇風土氣候に好適した斯業は有望だ

此天日製鹽の計畫は朝鮮の風土氣候に好適し豫期以上の成功であつたので鹽田の築造に着手し現今朱安に九十八町歩廣梁灣に九百三十四町歩合計千三十餘町歩の鹽田を官營として

圖鹽の生産に　從事して居る然し此千餘町歩の生産高は未だ朝鮮に於ける鹽の消費最四億斤に比べて見ると其五分の一強に過ぎぬので他は全部支那よりの輸入に俟たなければならぬ狀態である近年化學工業の勃興は之れに必要な鹽の供給が極めて重大な問題となり天日製鹽は曹達工業の原料として益注目を惹き其他前述の如く

圖歐洲鹽の輸　入杜絕、水産業の發達に伴ふ魚類鹽藏等に供する海外の需要は年と共に增加の趨勢にあるので當局でも前期第四十議會には廣梁灣鹽田擴張費三十四萬四千餘圓は二箇年度繼續事業として計上し議會の協贊を經ると共に本年度より鎭南浦廣梁灣の德洞干潟地に約三百五十町歩の鹽田を新設中である又朱安は昨年より百四十町歩の鹽田增築に着手し本年十二月末には竣工の豫定である之を

圖既成田と合　する時は總面積千五百餘町歩となるのであるが尙將來も引續き官鹽を朝鮮全道に供給し自作自給の目的を達せんとする次第である支那は莫大な鹽産額を有する國で統計の頼る可きものが無いので數字を表す事は出來ないが最初朝鮮へ輸入されたのは明治三十五年の頃支那芝罘から天日製鹽を搭載して平安南北黃海の各部沿岸に碇泊し積荷たる鹽を其地方に生産する

圖大豆粟等の　穀物と物々交換をした事に始まつたが此の天日鹽は粗大な粒狀をなし日用向として多少不便であつたにも拘らず價格の低廉な點と朝鮮在來鹽に比し鹽分の多い點とが經濟的である事を知り漸次莫大な輸入を見るに至り大正六年には其總額二億二千萬斤此價格約百萬圓に達するに至つた、然し支那鹽は粒狀の大なると純白で無い爲め

圖普通食用と　しては嗜好に適せない點もあるので再度精製しても原價の廉い爲めに經濟上充分引合ふので再製鹽業を企畫する者を生じ仁川釜山群山各地に斯業勃興し大正二年は最も殷盛を呈し工場數三十一箇所其生産三千五百萬斤に及んだが競爭激甚となるに伴れ小資本者の經營難を訴へ

圖工場の合併　行はれ大正六年には工場數に於て二十二箇所に減じたが生産高は六千萬斤に增加して居る次ぎは鹽田に就て述べて見よう。（昨日記載朝鮮人口千六百人とあるは千六百萬人の誤り）

# 圖白い瓦が鳩のやうに飛ぶ

## 壯快な朝鮮獵友會春季射擊大會

朝鮮獵友會春季射擊大會は十六日の朝から奬忠壇の同會射擊場で開催された大天狗小天狗の面々硝煙を吹いて

◇◇快活な　野外競技は一發毎に活氣を帶びて行く然も會員の集る者卅有餘名例年に無い出席者が多く盛會であつた

◇◇競技は　第一回が一個射擊第二回三回が續け射擊各滿點二十點とし合計六十點之に射手の巧拙に依り豫め規定した持點を加算して權衡を保つ事になつたゐる。何が扨

◇◇獵期も　過ぎて肥肉の獸に拱へぬ面々の事とて我こそは今日の月桂冠を得んものをと連中が腕を振ふ、白い瓦器が白鳩の樣に飛ぶ途端にズドンと一發見、瓦器に命中して微塵に碎け飛ぶ時の愉快さ、銃聲は松の綠を潛つて夏空に響き渡り薰風更らに得點が却々に多いので二回目の續け射擊中からだんだんと油が乘つて來る優勝の大銀盃は今年は果して誰の手に落ちるか（競技の結果は明夕刊にて發表）

# 圖日本の第一人者 四段の女棋客

―喜多文子女史を訪ふ―

## ◇十五歳で初段になりました

▼▲女で四段の免狀を持つてる、日本で一人の棋客、斯道の家元の一である、林家から、喜多流の謠曲大家喜多六平太氏に嫁して、今では喜多姓を名乗つて居る、喜多文子女史が

▼▲その秘藏のお弟子さんの田淵秀子（一九）―初段―と共に釜山に來て居る、港の町は雨で靜かな、十五日の午前文子女史を旅舘に訪ねると

▼▲お弟子の秀子さんは留守であつたがいそいそと出迎へて愼しやかに語すところは有難い碁の先生、一々定石に適てゐて調子が好い

▼▲曰く、連れて參りましたのは、道夜釜山に參りました[illegible]秀子を預かります時に、釜山に居ります秀子の兩親と、秀子が初段になつたら連れて參る約束したのを果す爲めでムいますがその秀子の披露客も十六日で濟みますから、折角來ても何も終りましたら、女の身で滅多に出られませんから朝鮮に參つたとですし、

▼▲京城にも十九日頃には是非上りたいと存じて居ります、秀子は兩親が釜山に居りまして十二の時に妾の所へ入門したので六年振りで昨年の十一月に男の方六名と共に初段の免狀を受けたのです

◇女棋客喜多文子

▼▲妾共が十一歳の時に始めて十五歳で初段になりましたのに較べますと、進歩は早いとは申されませぬが、成績はいゝ方で御座います

▼▲初段になつたので獨立させて、親元に返してはと仰しやる方もムいますけれども本人と實のところ、最少し高段を望んで居りますし、妾も最つと仕込んで見たいと思つて居りますので

▼▲せめて三段位になるまでは、手離したくないので御座います、初段から上に進む時が最も難かしくなつて誰も嫌になる時であり、また女子棋手として一番危險な年頃ですから注意して居ります、

▼▲兎に角京城には有段の方も大分お出でになるといふことが何かつて居りますから、一日も早く參るのが樂しみにして居ります

# 圖十圓紙幣僞造犯人

## 中等教員女教員等二十餘名の一團

本年一月以來九州各地より遠く大阪地方にかけ極めて巧妙に出來たる僞造十圓紙幣を行使するものあり郵便局銀行等にて續々發見さるゝより其筋にては容易ならぬ事件なりとし之が

▼中心地　と思はるゝ福岡市を主とし全國に亙りて搜査の手を擴げ極力探索の結果主謀者は僞造紙幣の前科ある者にして之には縣會議員や女教員なども加入し居り大仕掛に仕組まれ居ること發覺し今や兩三名を除く外連類二十二名は悉く逮捕せられし事件は既報の如くなるが犯人は左の如し

兌換券僞造使用無期懲役大正二年一月出獄後藤弘▲同紙幣僞造行使懲役十年大正二年一月出獄後藤代吉　同紙幣僞造懲役十年大正六年二月出獄樋口卯吉▲[illegible]大正二年二月出獄沼川左右馬▲[illegible]共犯懲役[illegible]年酒井[illegible]▲[illegible]松本虎市等の前科者を頭領にして平原清次▲蒲村利三郎▲福岡縣志摩郡清太郎▲同郡新川千太郎▲[illegible]福岡縣早良郡會議員樋口清八郎小宮林之助▲米田文太郎▲黑岩源吉▲米田主税▲井ノ内久米壽▲春田八郎、(?)曲田猶吉▲原田猪次▲福岡縣糸島郡福吉村中元小學校教員岡川キヨ▲早良郡入部村東入部村會議員水崎半秋

右の中後藤弘こそ僞造紙幣技術者の本人にして弘は明治廿七八年頃福岡市橋口町某□販屋に活版職工となりしが性來器用者にて印刷術に趣味を有し卅八年十月後藤代吉なるものと共謀して紙幣僞造を企てしが

▼發覺し　無期懲役に處せられ恩赦にて出獄したるが去る五年春頃より冬迄に掛け再び代吉と共謀して兌換券僞造の再舉を計り先づ大分縣下毛郡西谷村松本虎市等と握手して出資せしめ舊形十圓紙幣の僞造を開始し六年四月より新形十圓紙幣の

▼僞造に　着手し北九州各地[illegible]

▼情を通　するに至れり僞造の場所は同市外の山林中の家屋及び東公園の某家等にて常に居所を轉々して其筋の目をくらまし居たるものにて當局の準備全く整ひ去る十八日連類四名逮捕されキヨ及文太郎は同道し銅版類全部を携帶し同家を引拂ひ人目を忍び神戸にある本妻にて兵庫縣神崎郡栗賀町居住目下同地小學教師を勤め居る澤田アイ（四三）宅に潛せんとする處を逮捕されたるものなるが彼等の行使せる紙幣は

▼御紋章　の筋が荒く紙質のやゝ薄くして粗末なる外頗る巧妙にて普通のものには鳥渡判別つきがたし

# 圖新星見ゆ

## 或る天體と天體が衝突した熱からの光輝

### 圖千數年來の珍らしい發見だ　米國で日蝕寫眞に撮つた

既報米國[illegible]

『まだ何等の報に接してゐないが新星が現はれたのは事實と思ふ、しかしこの電文に少し矛盾がある、それは日蝕當時太陽は牡牛星座にあつたのに

◇◇鷲座星　群中にこの新星を見出したといふことは學術上滑稽な報告である、牡牛星座と鷲座星とは百八十度離れて全く反對の地位にあるのだから、それを日蝕寫眞で撮れる筈はない、その寫眞は多分天體寫眞の誤りであらうと思ふ、それでなければ流星の誤りかも知れないしかし何れにしても

◇◇新星が　現はれたとは珍らしいことで、千九百年來初めてだと言ふから餘程光輝あるものであらう、尤も肉眼に映じない位のものは〻あるし數前肉眼に見ゆるもしたが。小さなのが一つあつたしかし電文の模樣では重要視するに足る新星らしいから、天文學者間には

◇◇大なる　研究資料となるであらう、抑新星とは拉丁語でノバと言つて、その發現の理由は諸分複雜であるが、簡單に言ふと或る天體と天體との衝突のために起す猛烈な熱のために半氣體に化してそれが非常な光輝を放つ爲に

◇◇地上に　見ゆるのである、つまり星の運行が宛然人間同志が往來で打突かるやうに打突かるから生ずるのである、これが忽然として光を發して漸次に光を減する或るものは大きな望遠鏡で見ることが出來なくなる、常には何等の光輝もない隱れた星がかくして現はれるから、これを新星と呼ぶのである」（東京）

# 圖車窓より墜落

十四日午後零時四十分南大門發大田行列車金堤鳥致院間砂川橋梁進行中三等客鮮人一名泥醉の爲車窓より墜落し頭部に擦過傷を負ひたるも幸にて全く命拾ひをなせり

# 圖關東州野球大會

▲滿鐵軍の勝利に歸す

關東州野球大會は十六日開催滿鐵本社對實業團試合にて實業團三對滿鐵七にて滿鐵の勝利に歸せり此日參觀人一萬餘の多數に上り歡聲山野に溢るゝの盛況を呈した（大連特電）

# 圖釜山の大相撲

## 初日の勝負

大相撲初日なる十六日は朝より雨模樣にて客足鈍かりしも日曜のこととて午後より觀客多數押掛け木戸の番外餘興たる甲州、小田川の初切五人抜等は孰れも喝采を博し結局御好みは甲州が勝を占めたり此の日東西棧敷には藝妓連其總見あり各贔負力士に聲援するありて盛んなる相撲氣分を漂はせ盛況裡に五時半打出したり當日の勝負は左の如し

| 勝 | | 負 |
|---|---|---|
| 大淀 | 寄切 | 玉ノ川 |
| 小傘田山 | 叩込 | 眞砂岩 |
| 白岩 | 叩込 | 小田山 |
| 大岬 | 突出 | 伊逵錦 |
| 琴ケ浦 | 浴倒 | 三杉礎 |
| 大潮 | 下手投 | 大戸平 |
| 千葉崎 | 寄切 | 錦島 |
| 鳳 | 下手投 | 藤ノ田 |

（愛讀者の特權）

京　東京相撲木戸割引券

本券持參の方に對し一名限り卅錢の木戸を廿錢に割引致候

京城日報社

釜山興行中

# 圖谷口議長收監

京都府會議長谷口[illegible]兵衞氏は京都府瀆職事件にて收監されたるが右は標準試驗と女子師範移轉問題に飛火せるもの〻如し（大阪特電）

# 圖大邱鳳一行宿割

東京相撲大邱鳳一行の大邱に於ける宿割左の如し

[illegible]

# 圖義太夫の淨瑠璃會

[illegible]

# 圖朝鮮神社に能樂堂

京城各流謠曲の隆盛なる狀況は今更ら言ふ迄もなき事にて官民間の同好者一千餘名にも達する有樣なるが內地の各神社には必ず能樂堂の敷設ある慣例に倣ひ今回南山に新設せらるゝ朝鮮神社にも同樣之を設置せられ度き趣旨を以て近く觀世寶生喜多三流代表師範より其筋に出願する事に決定せり而して右成の有志同好者相會して來る三十日頃三流聯合の素謠大會を開き旁々目下各師範間に於て種々協議中なりと



# 染めたと見えぬ髪の染方

◻見苦しい染方　從來の人の染めた髪を見ると、如何にも際立つて態とらしく、色が一般の人の髪と違つて、一見染めたと分り、其上其樣な黑い色が首に附き枕に附き、直に剝げて終ふといふ工合で、自然の美い髪の毛のやうな色澤に染る染毛劑は在りませんでした

◻完全染毛劑現る　けれ共染毛劑は時勢と共に追々進歩はしましたが、併し未だ自然の髪の樣に染るのが無い、染め度い事は山々だが、染色が餘り不自然で却て目立つので困ると言つて遂ふ有樣でした。毛を染める必要のある人々が、斯うして常に非常な不自由を感ぜられてゐた所へ、新に完成發賣されたのが、現今最も進歩した白髪赤毛染として、各家庭に賞用されるナイスです。

◻理想的の染り方　専門の學者が深い研究で出來た丈けあつて、このナイスで染めると少しも態とらしい所が無く、染めたと見えず、丁度生れついての毛の美い人の髪のやうな色艶に染まつて、東髪でも日本髪でも非常に結ひ易く、又年とつた方にも不似合の事が無い、自然的の色澤に染り其上染方は何の造作もなく、時間は僅か二十分で染上り、保はよく外へは絶對に附きません

◻きつと御滿足　ナイスは斯ういふ珍しい染毛劑ですから、今では白髪染といへば何人もナイスで染めるのが極のやうに成つてゐます、一度ナイスを使つた方は、二度と外の染毛劑を使はれません。もしも未だ使つた事のない方は早速試して御覧なさい乾度御滿足なさるに違ひありません。

◻その證據　毛染劑の中でナイスが殊に優秀なる品質を有する事は、各地の大博覽會に出品して、最高名譽なる金銀牌の審査の下に、公明なる證據立てられて居ります。本品の優秀を證するに足る光榮を有するのはナイスが嚆矢であります。發賣元は有名な健腦丸本舗大阪心齋橋、東京日本橋丹平商會で價は男子用卅錢、小瓶四十錢、大瓶七十錢各藥店化粧品店に販賣、[illegible]染毛劑を買て御後悔あるな

原料貸與　職業

前途最も有望なるパナマ帽子及ゴムの職業年中無休自宅就職製品引受　現拂熟練一圓五十錢迄確實案內書御一報次第呈す

大阪本町信濃橋東詰振替一〇七〇六　代理店募集　東洋物産合資會社

下痢（くだりはら）と腹痛には

健胃固腸丸

直ぐ氣持ち良く止り後の腸胃を強健にす

藥價　十錢、二十錢　五十錢、一圓　三圓、五圓

○各藥店に販賣す　○商標と本舗名義に注意あれ

◎飲み易き小粒健胃固腸丸　◎兒童用として小兒固腸丸あり

易斷

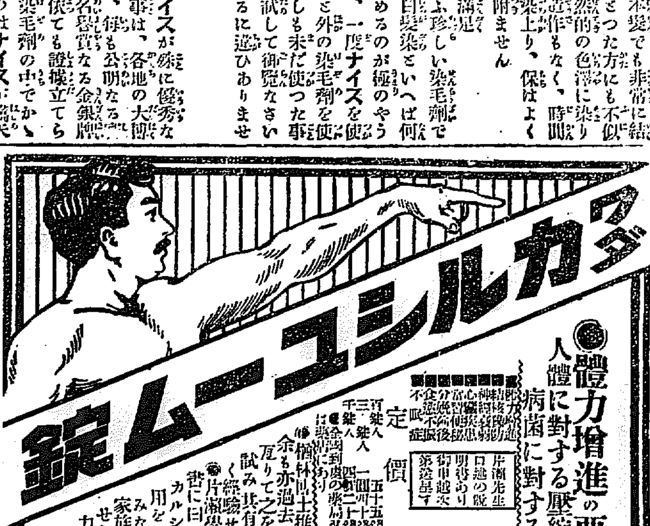
高島易斷本部主事高島香明先生出張　受付午前八時より十一時まで午後三時より十時まで　場所　京城旭町一丁目日ノ出湯前（電話一五七二）

神易協會　高島易斷本部

瀬戸外科皮膚科醫院

京城旭町二丁目（舊三丁目）電話二四九八番　（診察夜九時迄）

醫學士　瀬戸潔




●體力增進の要素●

人體に對する壓縮肥料　病菌に對する鐵條網

定價　百錠入　三百錠入　千錠入　[illegible]

◎全國到處の藥店にあり

◎桐林博士推奬狀に曰く余も亦過去一年有半に亙りて之を自己自體に試み其有効なるを親しく經驗せり云々

◎片瀬學士鑑査證明書に曰く予は常時カルシユームの服用を怠らざるのみならず予が家族にも之を服用せしめて其効を確認すと云々

片瀬先生口述の說明書御申越次第進呈す

大阪道修町二丁目　電話本局一〇九　振替口座大阪三九九　和田卯助商店

外科皮膚科　內科花柳病　小兒科

島崎病院

京城旭町二丁目（本町通り左に入る）　診察夜九時迄　電話二七三六番

入院隨意　院長　正六位勳四等功五級　島崎龍一

# 妻の心 十

小林蹴月作 武内桂舟畫

(三)の一

駿河臺は袋町の行當り＝現代護士町川久三郎の玄關先には、今一臺の艶美しい幌の人力車が轅棒を卸した。それは、令夫人禮子が掛りつけのお醫者で、關山と云ふ醫學博士であつた。博士が奥へ案内せられて、稍少時經つてから、小首を傾けながら出て來た時、お俊と云ふ此の家では、一番古參の老女中が、悄れ返つた秋の花のやうな貌をして、玄關先まで、博士を送り出して來たのであるが、お俊は博士の夏外套を背後から被せながら、極りわるさうに聲を潜めて

『先生、妾にだけ被仰つて頂きたいんですが、一體奥さまの御病氣は如何なんで御座いませう。』と、訊ねた。

先生は、横柄と云ふ村の中から生れて來たやうな顔して、

『然うぢやね、まあそれほどに心配する事もないやうぢやが、御主人公さへ歸つてお在たら、間もなく癒るぢやらう。身體の衰弱と云ふよりは、神經の亢奮が非常に激しいやうぢやから、それを鎭穏に歸せしめるのは、御本人に物の安心を與へると云ふ事が、醫士の薬よりも何よりも一番効驗が早いぢや。は、は、は。』

博士は、被せられた外套に手を通しながら、斯う云つたまゝで歸つて了つた。

見送つたお俊は、泣くにも泣けぬやうな顔を蹙めて、復び奥へ引返へさうとすると、恰度其處へ人力車にも乗らずに、こつ／＼と歩いて來た一個の訪問客がある。お俊は、見馴れぬ人だがと思ひながら、おづ／＼として手を支へた。

『突然で、甚だ失禮で御座いますが、私は斯う云ふ者で御座います』と、自分の身體より大きな名刺を突き出し、

『御主人はお留守と云ふ事を承知で伺ひましたんですが、一寸五六分間でよろしいのですから、奥様にお目に懸りたう御座います。』と附加へた。

『はあ、左様で……。』と、お俊はその名刺を受取つて見ると、花卿新社の柴田何某と書いてある。

『什う云ふ御用かは存じませんが奥様は只今御病氣で御在で御座いますから、妾が承はつといてよろしい事で御座いますなら……。』

『いや、その御病氣と云ふ事も、概略は、承知して參つた譯ですが實はその御主人公からの御傳言を承はつて參りましたので……は、は、は。』と、柴田は、故意かあらぬか、玄關先の小砂利も吹き飛ぶやうな哄笑ひを爲ながら、

『……お目に懸れぬほどの御大病なら、致し方御座いまんが、では貴女に御取次を願ひませうかな。』

『情願、妾にまで被仰つて頂きたう御座います。最前奥様は只今も御醫士がおいでになりまして、奥様とお談話する事は當分好くないとの仰せで御座いましたから……。』

『了解りました。では貴女にお取次を願ふ事に致しますがね、町川さんは當分御歸宅にはならんさうで御座いますから、その事を一寸』

『へい、何と被仰るんで御座います。では、宅の旦那様は當分お歸りにはならないと被仰るんで御座いますか?』

今も今、關山博士から、奥様の御病氣は御主人公さへお歸りになれば、間もなく癒ると云はれたばかりだのに、當分お歸りにならぬと云ふ傳言を、什うして奥様のお耳へ入れる事が出來やう。忠實なるお俊は右つ左つに迷つた。

『先づ、早くとも二三箇月はむづかしいでせうな。その事を一寸奥様のお耳に入れといて頂けば、私の任務は濟むんで御座いますよ。は、は、は。』

柴田は、又してもいやな笑ひを漏らして、澤山もない鰌髯を捻つて見せるのであつた。

『ねッ、二三箇月、それでは奥様が死んでお了ひに……。』と、お俊は、我知らず云ひかけて、我ながら氣付いたやうに口元を抑へたが、

『それは又、什うした理由なんで御座いませう。』と、くりツとした大きな眼を一杯に瞠つて、對手の顔を射るやうに覗上げた。

人參エキス 京城本町壹丁目 電話一四八〇 一八七〇番 ㋡津村兄弟商會

牛乳 衛生的 新鮮 滋養 病院御用 京城東四軒町 岡野牧場 電話一〇六九番

汝昔津 桂武君に寄す
夏寒さ岩指すや波平ら
上り來て五月雪ふる峰深し 聽德翁
知る人"數語りあひて短き夜 黄水院
つゝじ山家構ね得て水を前
馬を叟かす自動車雨の醉若葉 新浦
灯影見る夏の港や醉來て
下御川椅子が得せてとる
閑古鳥椅子に冊き過ぐ麓畑
三和京城に還る
白雲や一夢二城の花つゝじ
「對座吟
八と云ふ人戀しくて旅行く日 老水
菊芽挿終えて初夏の扉な浴びり 靜虹

## 日 歌壇

○桑摘み 元山 草一
はしそばの樹かすさびの畠向ひたまたま摘むなり桑な
朝まだき人しみにれば摘の上にうたひ出でつゝ摘む桑若葉
夏のこの朝あけなほうほうとなればよろしも物の音消の

○ 京城 若草
星月夜ことに涼しき窓なればさやさや風の葉にかるきこゆ
乙女てふいとほしき名ないのちにて淋しき日なも我の生きゆく

○ 京城 路代
冷やけき風にふかれて夕空に黒き山々見だり淋しく
よろこびかそ～悲しみかわがなみだ沼ゆるながすこの涙はも

○ 京城 あづさ
夕さりて港に泊る外国の汽船な雨はむれてめぐるも

## 左衛門歡迎會句録

六月十五日午后一回春閣にて開く、會者十五人、課題『夏祓』『雲の峰』『木下闇』『汎し』『十二』互選結果(十二點)左衛門(十點)松黄子(七點)浩一郎(五點)菊城(四點)烏兎、鯨城、案山子(以下省く)

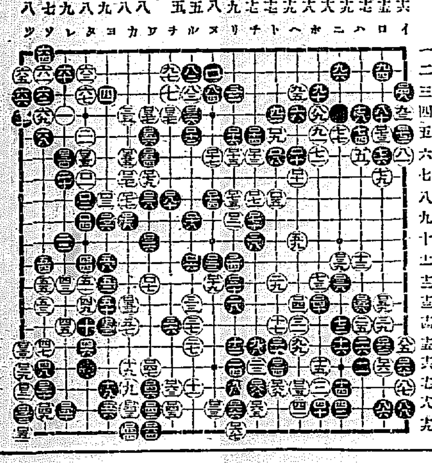
帷外す夕べ酒澁し裸人 松黄子
汐燒の裸に灸の跡太し 左衛門
木下闇一僕鍵を鳴し去る 案山子
下闇の高草い飛ぶ蝶かな 浩一郎
下闇の少し明き處かな 菲城
徑の岐れ地下將軍や木下闇 亂石
―以下次號―

□戊午北征吟(拾遺) 烏兎
京元線車中
朝霞旗幟置き捨て、畑打てり 三たび豆滿江を渡る
揚雲雀水を隔てゝ國降る 羅南
緑蘿や百里の野良に山見て 新阿山
降る國の山指すや峰若葉 雄基嶺
狼の道き過ぐ若葉哉
峠來て水鳴く谷の蹄躅哉 雄基今木氏邸
山に對す躑躅の亭やなく鴎 城津(袋人君に別る)
南北に別る丶船や岸若葉
蔵くさく人に別る丶若葉哉

## 碁戰(九)

(大正七年五月二十二日 京城於紀本龍太郎氏宅)

二手 五段 桐亭 關源吉氏
初段 佐藤伊藏氏



| | |
|---|---|
| 一六一 | ロの十六 |
| 一六二 | ロの十五 |
| 一六三 | チの十七 |
| 一六四 | ソの十九 |
| 一六五 | チの十六 |
| 一六六 | リの十六 |
| 一六七 | リの十九 |
| 一六八 | チの十七 |
| 一六九 | トの十七 |
| 一七〇 | チの九 |
| 一七一 | チの八 |
| 一七二 | イの五 |
| 一七三 | ロの五 劫ツグ |
| 一七四 | スの八 |
| 一七五 | リの八 |
| 一七六 | ヨの九 |
| 一七七 | カの八 |
| 一七八 | カの九 |
| 一七九 | ヲの七 |
| 一八〇 | チの八 |

## 新刊紹介(到着順)

▲新公論(六月號) 經濟思想の變革と米專賣論說松岡博士、服部教授、松井柏軒、牧野英智氏の議論の外哲學的の根本革新、詳大家の說、最近精神科學の進歩に於ける新催眠術、不思議な二重人格、幻覺の話など收めし傑作にて沖野氏の自轉車と云へる長篇小說あり(三十錢、東、々橋區加賀町一八新公論社)

▲講談倶樂部(七月號) 數十の短篇小說演談、落語等を初め、頁數に亘る名篇大傑作ありせり倚各種の隱語と寫眞なる寫眞附錄の優勝なる點ありて、(四十錢、東京市本鄉區駒込坂下町四八講談社)

▲一大帝國(三の六) 十六錢、東京芝琴平町二共社

▲判例公論(一の四) 十五錢、東京下谷仲御徒町二の一共社

▲帝國青年(青年團大會記念號) 十二錢、東京麴町區内幸町一の四帝國青年發行所

▲國語教育(三の六) 二十五錢、東京々橋區

▲東亞之光(一三の六) 二十六錢、東京小石川原町七八東亞協會

▲謠の友(六月號) 十八錢、東京麴町區飯田町三の九能樂新信社

▲東方藝術(三號) 三十錢 東京淺草今戸町三諸語社

▲獨逸語青年(六月號) 二十錢東京本鄉區龍岡町三四共社

▲ローマジ(六月號) 十二錢、東京麴町區有樂町一の三同ひろめ會

▲第三回海外派遣官報告集(非賣品) 農商務省商工局發行

▲知て居る女(巖谷小波著) 御も誰の知つて居る女、昔も今、妻より女、歌留多の選手、初箱何、花の色、乘り捨の波、鏡の光、花か、ぶ、刀の影、何所に何うして内助か内妨か、禍の門、掌の玉、男將夫人、女難除、理想の候補者、三つ組字治の一口、角かくし等(四六版二百九十頁一圓二十錢東京々橋區一東京社發行)

▲實業之世界(創刊十周年紀念號) 過去十年間に於ける日本の進歩と將來、十年一昔(三宅博士)十年讀賣新聞の一頁、澀澤男十のしる論(大木伯)捗き十語(尾崎行雄)三鷹校の十傑(早川鐵冶)實業界の十大人物(江外生)十大富豪家十人、明治の十大奇業家等(三十五錢東京麴町區有樂町一の四共社)

◉義郎氏去る 雜誌新聞及び滿洲の俳壇に盛名ありし江原道技手藏州池田義郎氏は此の程退職す如暇を得て郷里大分縣に歸れり

## 讀者の領分

▲近來は夏冬を通して水道の断水が有り市民一般の迷惑は一般ならず [illegible]


# ホシ人參製劑

藥用 人參中の最高權威 ホシ人參製劑

神經衰弱＝ヒステリー＝精力減退
貧血＝肺病リウマチス＝子宮病
血の道＝神經痛＝眩暈＝營養不良
老衰＝陰萎＝腎臓炎等に効あり

人參は精力を盛にし、腦力を強め、血行を良くし、身体を強壯になす効果あり、不老長壽の靈藥として珍重され、古來より盛に賞用せられたるものにして、殊に一大滋養強壯の支那に於ては、專ら精力増補の目的を以て需要旺盛を極め、本邦に於ても近時諸種の疾病に賞用益盛となり、其効果一般に認識せられてより、近來

種々の人參製劑續出して、是を飲用せんと欲するも、時に選擇に迷はせ給ふ程なり。

人參中最も信用あるは朝鮮總督府の管下たる開城産のものにして、其効果も亦他に産するものに比し遙に優越す。されど往々不良なる類似品ありて、眞正純良なるは極めて得難し。ホシ人參製劑は人參研究のオーソリチーにして、朝鮮總督府顧問たる農科大學の三宅博士が、本場開城産の逸品中より優良のものを採擇し、是を化學的に精製せるものなるが故に、數ある人參製劑中最も確實なるものなり

| 種類 | 効能は何れも同じ |
|---|---|
| ホシ人參丸 | 廿錢五十錢一圓二圓 |
| ホシ人參錠 | 五十錢一圓 |
| ホシ人參末 | 五十錢一圓三圓五圓 |
| ホシ人參エキス(流動) | 五十錢一圓三圓五圓 |
| ホシ人參葡萄酒(規那) | 一圓五十錢 |
| ホシ朝鮮人參(生) | 一圓二圓三圓五圓 |

古來人參は諸種の漢藥中無上の靈藥として珍重せられ、是を得んが爲めに産を傾け、人身を賣買したるが如き例に乏しからざるは、世人のよく知る處なり。然るに明治維新後歐米の文明が輸入せられ、之が崇拜の餘弊潮に達したる結果漢藥を說き、從つて草根木皮を口にする者は、冷笑せらるゝが如き狀態となり、從つて需用頓に衰へ、遂に久しく其影をさへ絶ち、人參の名稱すら忘らるゝに至れり。然るに米國人ラフィネスク氏を嚆矢として、多くの學者間に人參の化學的研究行はれたる結果、滋養強壯剤こして最も優秀なる偉効を有することを發見せられ、近來再び人參需用の聲を盛に耳にするに至れるものなり。藥用人參は日本、支那、米國、朝鮮等に産出すれど、最も優れたるは朝鮮産の物にして其本場たる開城附近八郡は朝鮮の内に於ても、更に優良なる人參を産出する所なり。而して人參の純良なるものは甚しく高價なるものにして、分で季完用伯は目方九十匁の人參一本を、三千圓の價を以て買ひたりと言ふ程なり。されば多くの人參製劑は本場産のものを原料とするに堪えずして、總に他のものを原料に混入しつゝあるもの尠なからず、然るに本社のホシ人參製劑は絶對に朝鮮開城産の人參のみを原料とせるものにして各種人參中の最高權威たるものなり。最近青森縣弘前市元寺町十九番地桃木至治氏が本劑を服用して強烈なる神經衰弱を全治し、剩さへ僅三ヶ月にして、其體重一貫六百九十匁の増加を見たるが如きは、ホシ人參製劑の偉効を證する顯著なる生きたる事實にして、如何に優秀なるかを證明するものなり。

東京京橋南傳馬町三丁目
發賣元 星製藥株式會社
電話京橋一七八五番 仝 二〇五二二番



流經新薬 レスノリン 月經
月經閉止四五ヶ月以内に確實の流經作用を以て容易く應用の目的を達し得られ他薬に優越せる効果を有す 藥價一瓶一圓廿錢 送料内地十錢 海外十錢 切手代用一割増 說明書進呈 振替大阪六二〇番
大阪北區曾根崎上二丁目三六番地 發行所 常盤藥院

サック
品質優秀 衛生的 防一切不取扱
並製品は品質粗惡にて破損し易きにより
▲男用極上等製拾個五拾錢 廿個壹圓 特別優等製拾個六拾錢特別製拾錢
▲女用一個五拾錢 ▲郵券代用壹割増 ▲送料各八錢 ▲着金即刻密送 ▲當館は品質本位にて優等精良品のみを取扱ふ故に價にては他品に優る事を請合ふ
東京北品川町百五十四番地 日新館製劑部

りん病 はい毒 請合薬
京城南大門外 ドラッグ商會滿鮮本部 京城黄金町 ドラッグ商會支店



日本郵船仁川出帆
大連行天津行
相模丸 六月十九日
三河丸 七月九日
高砂丸 六月廿九日 正午出
仁川海岸町十一番 堀回漕部

開自動車著發時刻
金泉支部

尼崎汽船仁川出帆
下關・大阪直行
第一太湖丸 六月
大有丸 六月廿一日 後四時出
君が代丸 六月
仁川海岸通 商杉回漕部

共同汽船仁川出帆
大連直行
共同丸 六月十八日後入港 六月十九日後出港
阿波共同汽船株式會社 本町四丁目(電話一七三番)
仁川代理店 野口商會
元山代理店 田口回漕部
京城取次店 河村運送店

釜山出帆廣告
汽船 門司・神戸・大阪行
○和歌浦丸 月 日後五時出
○立神丸 月 日後四時出
○元山・清津・浦鹽行
○和歌浦丸 月 日後十時出
○立神丸 月 日後四時出
○佐須奈・嚴原・壹岐・博多行
天草丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
○元山・西湖・新浦・城津・清津行
第三渓平丸 四月 日後六時出
○門司・宇品・神戸・大阪行
第三渓平丸 四月 日後六時出
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部



朝鮮郵船出帆
○敦賀行 平壤丸 六月廿二日 清津發
○浦汐行 平安丸 六月廿五日 六月廿七日
○雄基行 ×京畿丸 六月十七日 六月十九日
○元山雄基線 咸鏡丸 六月十六日
○大阪行 平安丸 六月 日
○關門行 ×雄基丸 六月十五日 六月十八日 六月廿四日 六月廿八日
○金剛山遊覽便 穩城丸 六月十九日
○釜山浦項線 江陵丸
○濟州島行 昌平丸 六月十六日
○木浦麗水線 金海丸 六月十六日 木浦發
○多島海行 公州丸 六月 日 木浦發
○木浦行 全州丸 六月十八日 仁川發
○海州行 錦江丸 成歡丸 毎日一回 仁川海州發
○鎭南浦行 晉州丸 六月十六日 仁川發
○青島行 江原丸 六月廿一日 仁川發
本社 京城南大門通(電話一九五二二)

大阪商船出帆
仁川出帆
○神戸・大阪行 日清丸 六月廿三日 後五時出
能登丸 六月十五日 後五時出
○西湖津・新浦・城津・清津行 安平丸 六月廿四日 後十二時
○釜山・門司・宇品・神戸・大阪行 宮島丸 六月十八日 後九時出
○上海・漢口・打狗行 湖北丸 七月十日 前六時出
基隆丸 六月廿一日 後四時出
御注意
歐洲航路 南米航路 北米航路 孟買航路 南洋航路
大阪商船株式會社仁川支店 電話二〇五〇番
京城 切符發賣所 電話七〇八番